

Ⅱ 和歌山県の農林水産業の動向

1 農業部門

1) 農業指標

本県の総農家数は29,713戸、うち販売農家数20,352戸である。販売農家のうち専兼別の比率は専業47.8%、1種兼業13.5%、2種兼業38.7%で兼業農家の比率がやや高い。(2015年「世界農林業センサス」結果より)
 耕地面積は33,700haであり、その利用形態は水田29.3%、樹園地63.5%、普通畑 7.2%である。
 農業産出額は10,061千万円（構成比：米7.6% 果実62.3% 野菜16.1% 花き5.7% 畜産4.9%）

	平成27年		海草	那賀	伊都	有田	日高	西牟婁	東牟婁
総農家	戸	%	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸
販売農家	20,352	(100.0)	3,866	3,396	2,349	3,525	3,944	2,892	380
専業	9,732	32.8 (47.8)	1,725	1,654	998	1,805	1,872	1,446	232
1 兼	2,752	9.3 (13.5)	366	446	289	690	585	355	21
2 兼	7,868	26.5 (38.7)	1,775	1,296	1,062	1,030	1,487	1,091	127
	平成27年		海草	那賀	伊都	有田	日高	西牟婁	東牟婁
耕地面積	ha	%	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
水田	9,870	29.3	2,585	1,885	972	524	2,020	1,272	608
樹園地	21,400	63.2 (100.0)	2,919	3,282	2,816	5,010	3,633	3,601	130
みかん	7,800	(36.4)	1,818	825	226	3,882	361	680	6
はっさく	999	(4.7)	8.3	546	70	122	150	25	3
うめ	5,540	(25.9)	109	182	188	53	2,522	2,482	13
もも	767	(3.6)	46	585	135	1	0	0	0
かき	2,690	(12.6)	212	637	1,818	10	9	2	3
普通畑	2,440	7.2	604	210	149	243	769	288	181
	平成27年		海草	那賀	伊都	有田	日高	西牟婁	東牟婁
農業産出額	千万円	%	千万円	千万円	千万円	千万円	千万円	千万円	千万円
米	760	7.5	236	149	68	36	153	94	24
果実	6,270	62.0	842	1,187	861	1,804	753	804	18
野菜	1,620	16.0	332	298	112	72	709	66	28
花き	580	5.7	21	89	23	80	251	86	22
畜産	520	5.1	37	57	114	181	23	26	55

※ ラウンドしているため、各数値の積上げが、合計と一致しない場合があります。

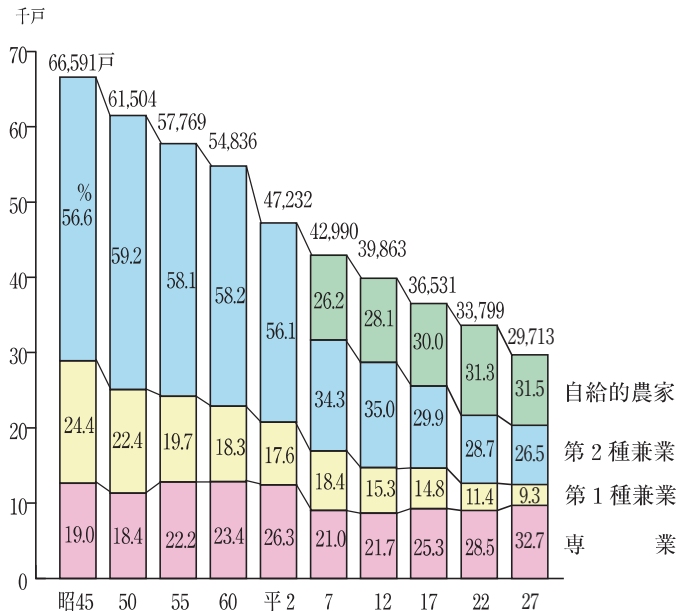
※ 「χ」は、統計法に基づく秘密保護のため、公表されていないものです。

(2015年世界農林業センサス・農林水産統計年報・市町村別統計検討協議会調べ)

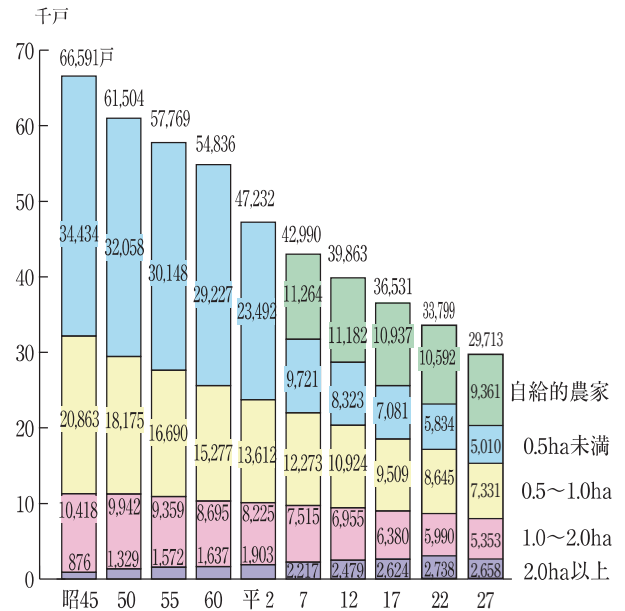
2) 農業を担う人々

平成27年の農家戸数は29,713戸で減少傾向が続いている。経営規模が1ha未満の農家が73.0%を占める。年齢別の基幹的農業従事者では60歳以上の占める割合が72.9%と増加してる。平成7年以降、新規就農者数は増加傾向にある。

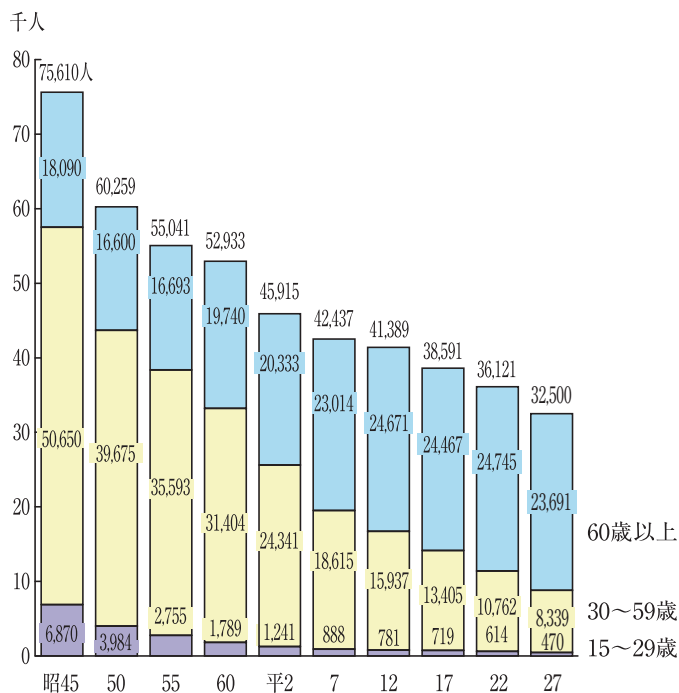
農家数の推移



経営規模別農家数の推移



基幹的農業従事者数（年齢別）の推移

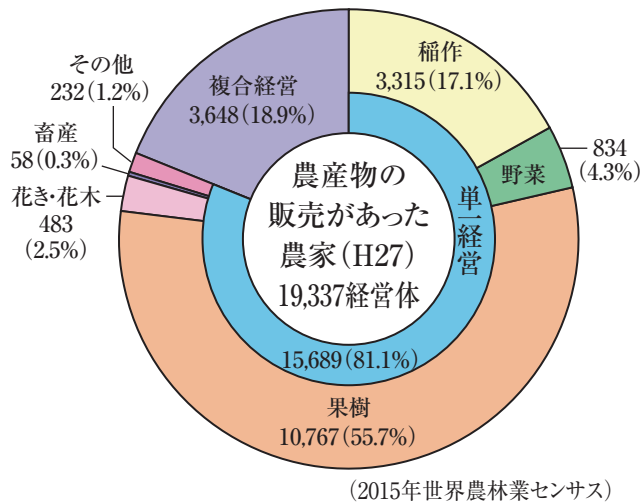


※本調査は、平成8年より調査対象が変更（総農家→販売農家）されていますので、ご利用の際は、ご注意下さい。

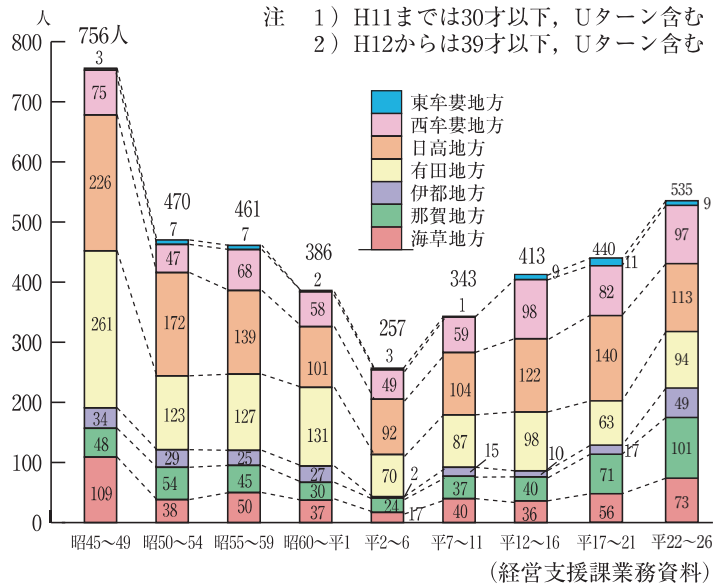
農家数						
〔平27〕	全国	和歌山県		1位	2位	3位
	実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名
総農家数	2,155,082	29,713	35	1.4	長野	茨城
販売農家数	1,329,591	20,352	29	1.5	茨城	新潟

(2015年世界農林業センサス)

農業経営組織別経営体数（平成27年）



新規就農者数の推移

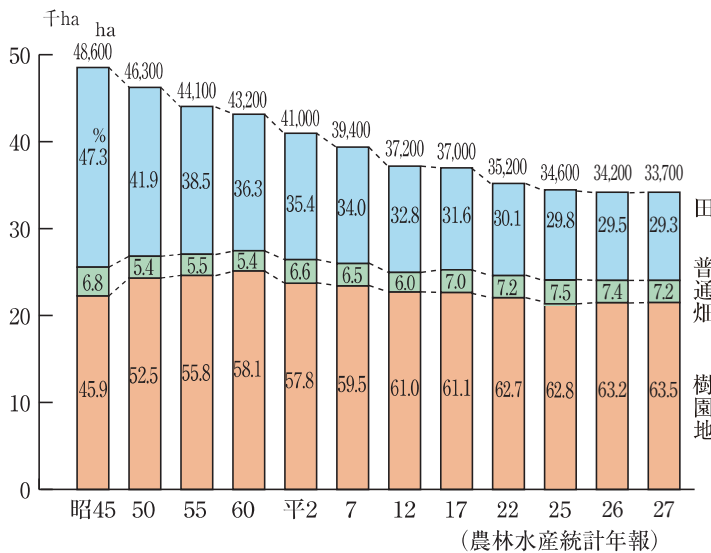


3) 耕地面積

耕地面積は減少傾向にあるなかで樹園地の比率が高まっている。

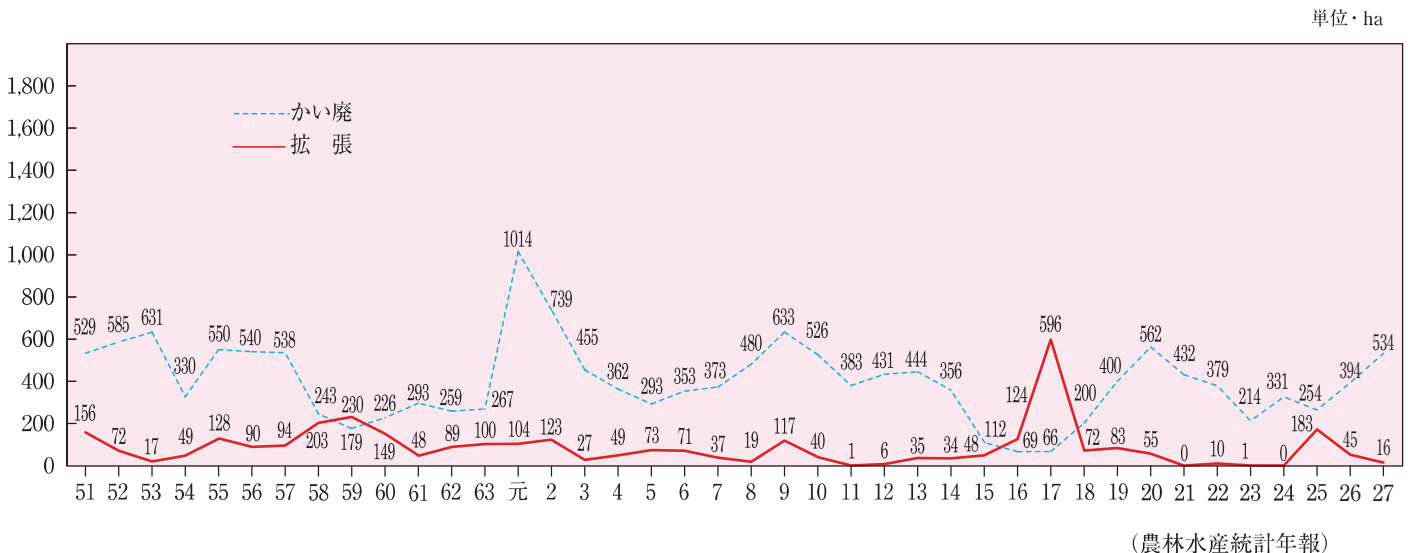
施設面積は平成9年の909ha(耕地面積の2.3%)をピークに減少している。

田畑別耕地面積の推移

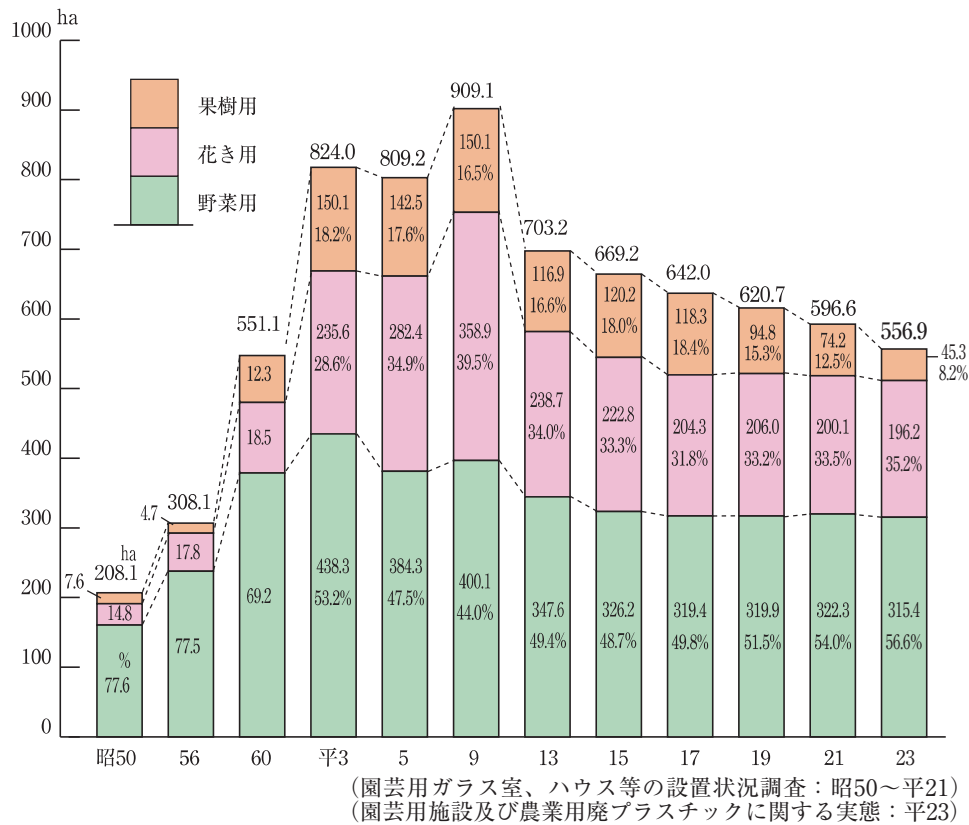


〔平27〕	耕 地 面 積					
	全国	和歌山県	1位	2位	3位	
	実数	実数	順位	シエア (%)	県名	県名
耕地面積合計(ha)	4,496,000	33,700	38	0.7	北海道	新潟県
田	2,446,000	9,870	42	0.4	北海道	新潟県
畑	2,050,000	23,900	20	1.2	北海道	鹿児島県

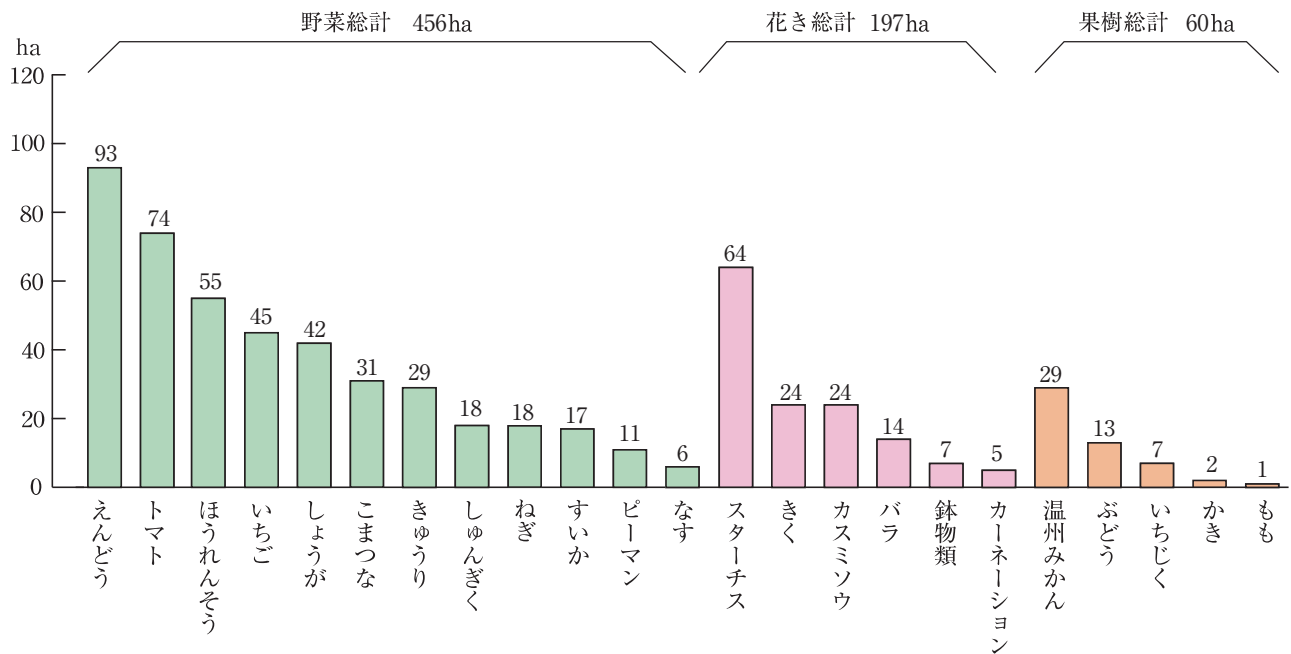
耕地の拡張・かい廃の推移



施設設置面積の推移



主要品目別施設栽培延面積 (平23)



施設園芸作付延面積の推移

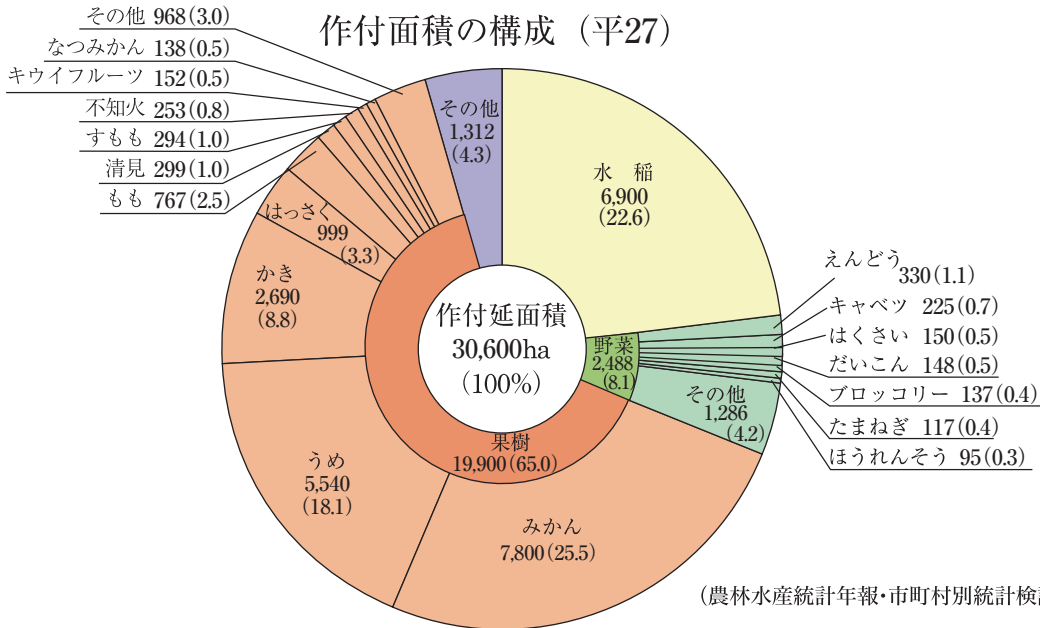
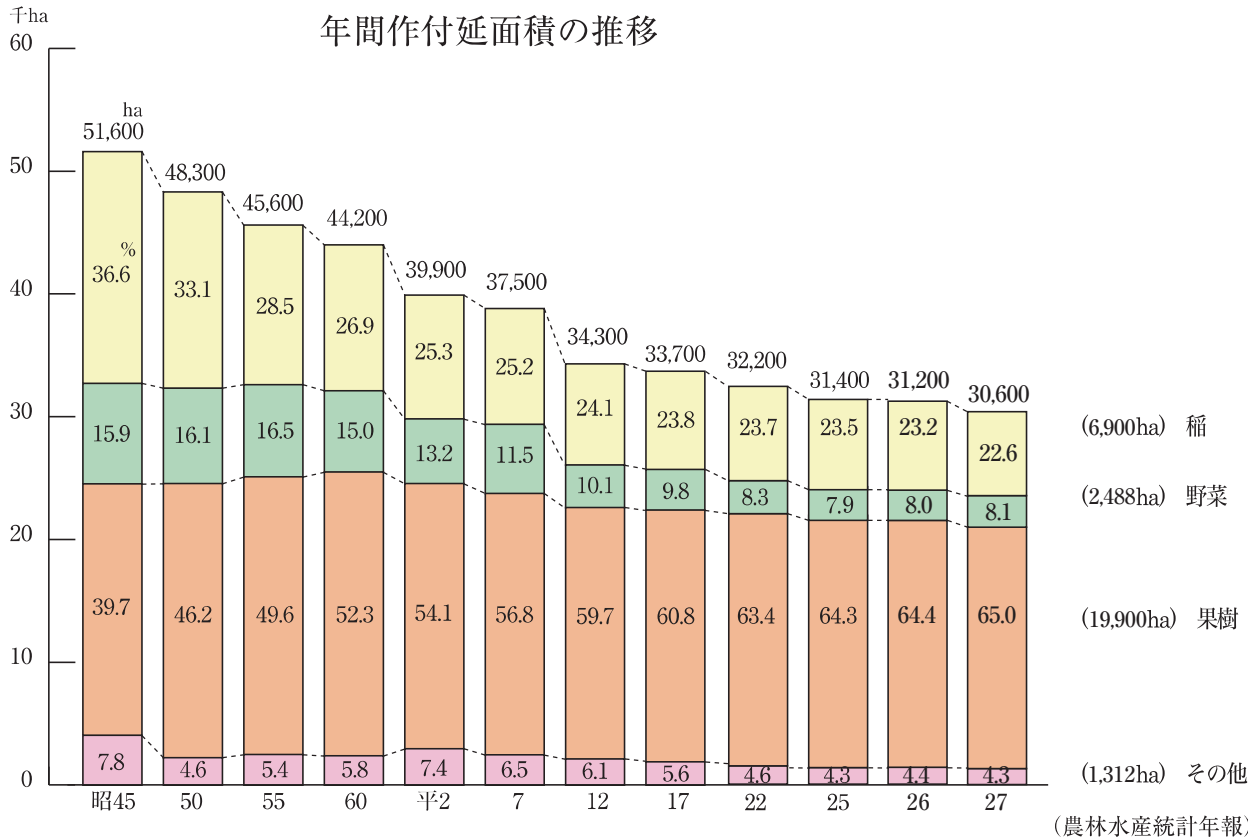
	昭50	55	60	平2	5	9	13	15	17	19	21	23
野 菜	197	358	663	580	459	474	432	380	382	377	419	456
花 き	35	79	180	276	353	413	266	210	220	211	205	197
果 樹	16	15	80	137	174	150	117	120	118	92	74	60
合 計	248	452	923	993	986	1,037	815	710	720	680	698	713

(園芸用ガラス室、ハウス等の設置状況調査：昭50～平21)
(園芸用施設及び農業用廃プラスチックに関する実態：平23)

4) 農業生産

年間作付け面積の構成 —— 果樹（65.0％）・水稲（22.6％）・野菜（8.1％）

作付面積は年々減少しているが、本県の基幹品目である果樹の作付面積は全国第2位となっている。



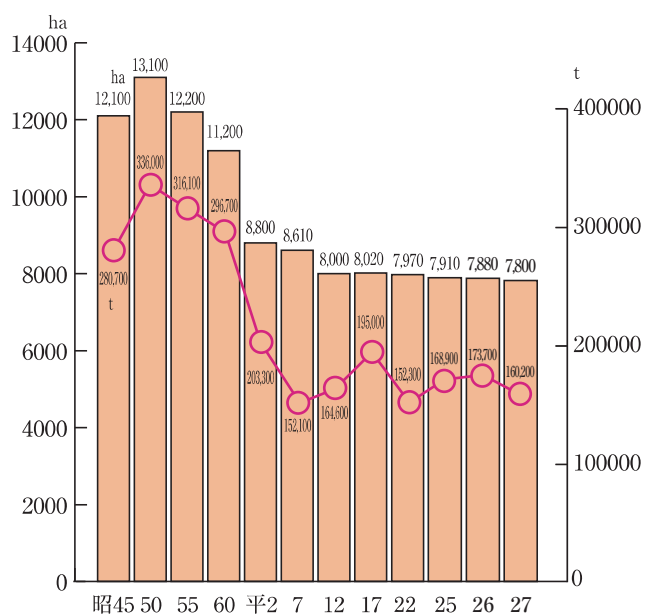
作 付 延 面 積						
〔平27〕	全 国	和 歌 山 県		1 位	2 位	3 位
	実 数	実 数	順 位	シエア(%)	県 名	県 名
作付延面積 (ha)	4,127,000	30,600	36	0.7	北海道	茨 城
稲	1,506,000	6,900	42	0.5	新 潟	北 海 道
野 菜	562,900	2,488	46	0.4	北 海 道	茨 城
果 樹	230,200	19,900	2	8.6	青 森	和 歌 山

かんきつ類の栽培面積及び収穫量の推移

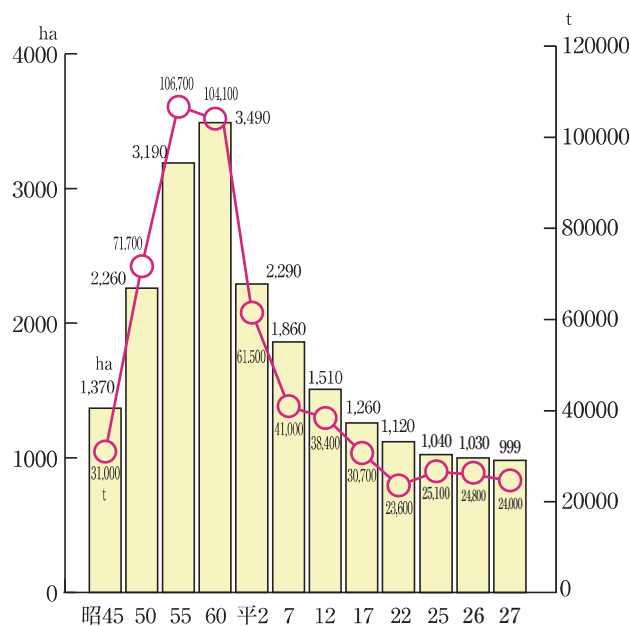
- みかん：みかんの生産過剰とオレンジ輸入自由化により、昭和50年から平成2年にかけて栽培面積は急激に減少するが、平成2年から緩やかな減少傾向となる。
- はっさく：みかんの転換作物として昭和60年まで栽培面積が増加したが、その後減少傾向に転じ、近年はその傾向が鈍化している。
- 不知火：みかん・なつみかん・いよかん等の転換作物として栽培面積は増加傾向にある。

平成26年の全国順位とシェア（栽培面積）—— みかん1位（17.5%）

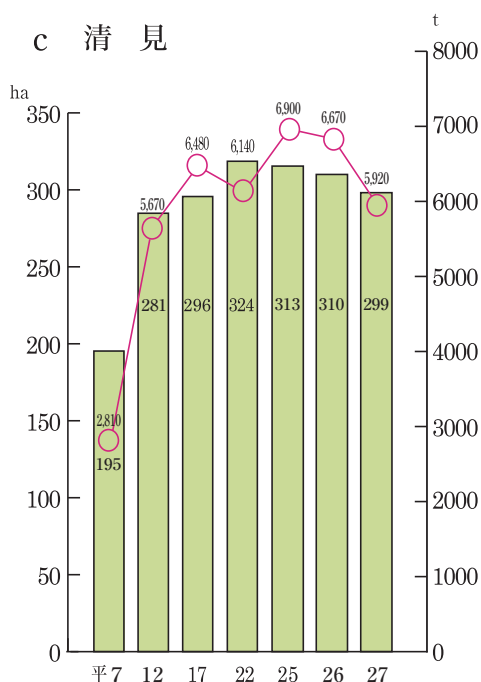
a みかん



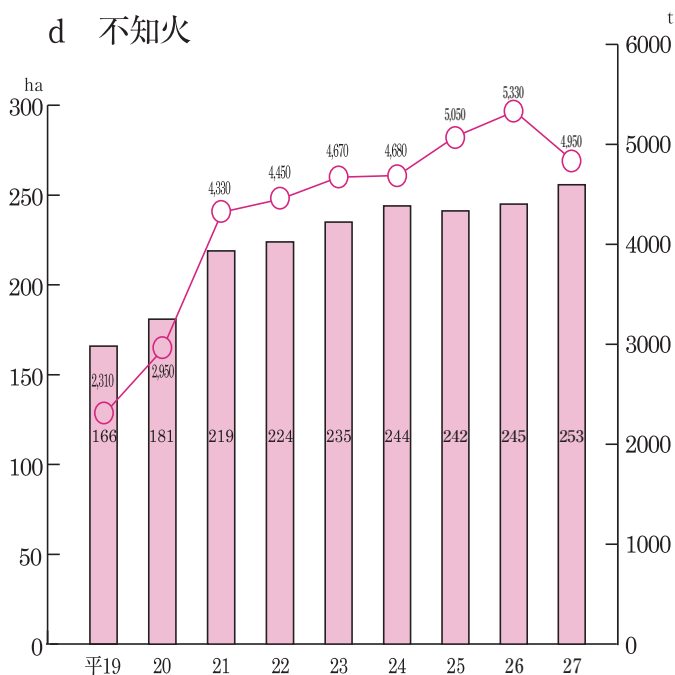
b はっさく



c 清見



d 不知火

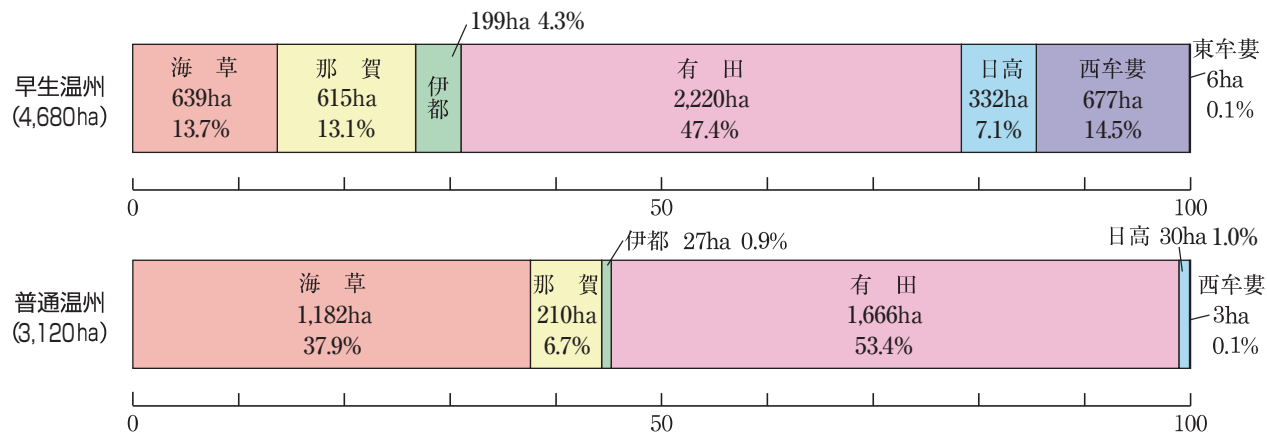


□ 栽培面積 (ha)

○ 収穫量 (t)

(農林水産統計年報・市町村別統計検討協議会調べ)

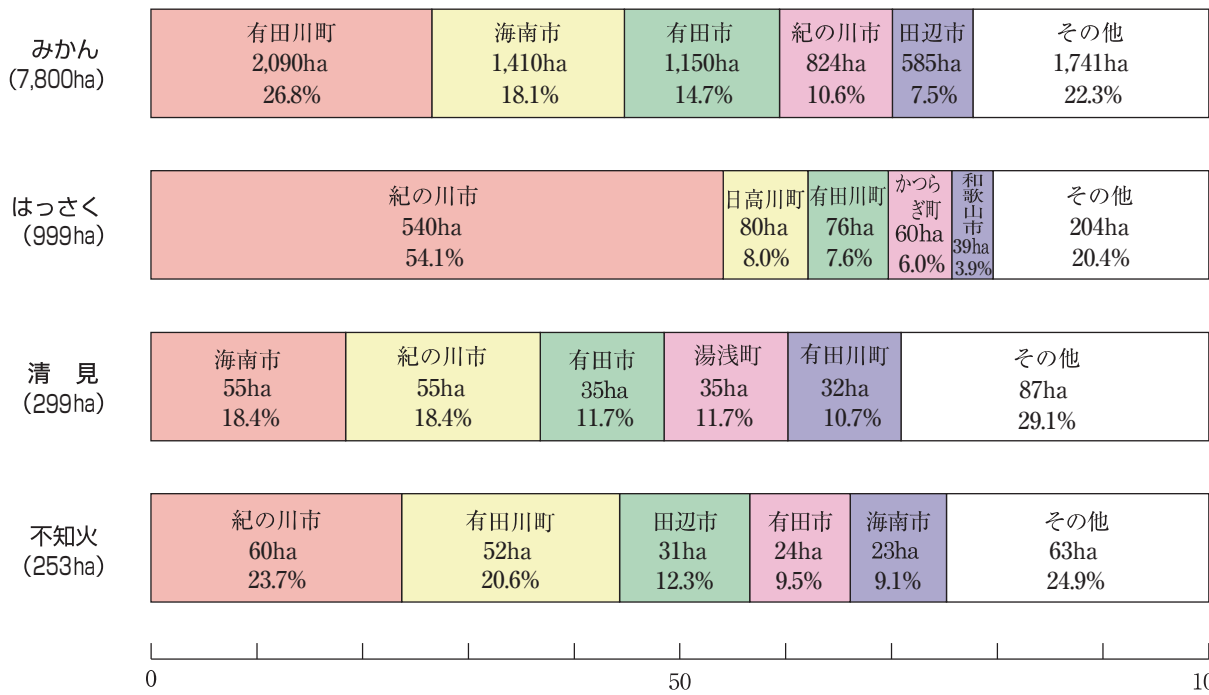
地域別・みかんの栽培面積（平27）



（市町村別統計検討協議会調べ）

市町村別・かんきつ類の栽培面積

〔上位 5 市町村〕（平27）



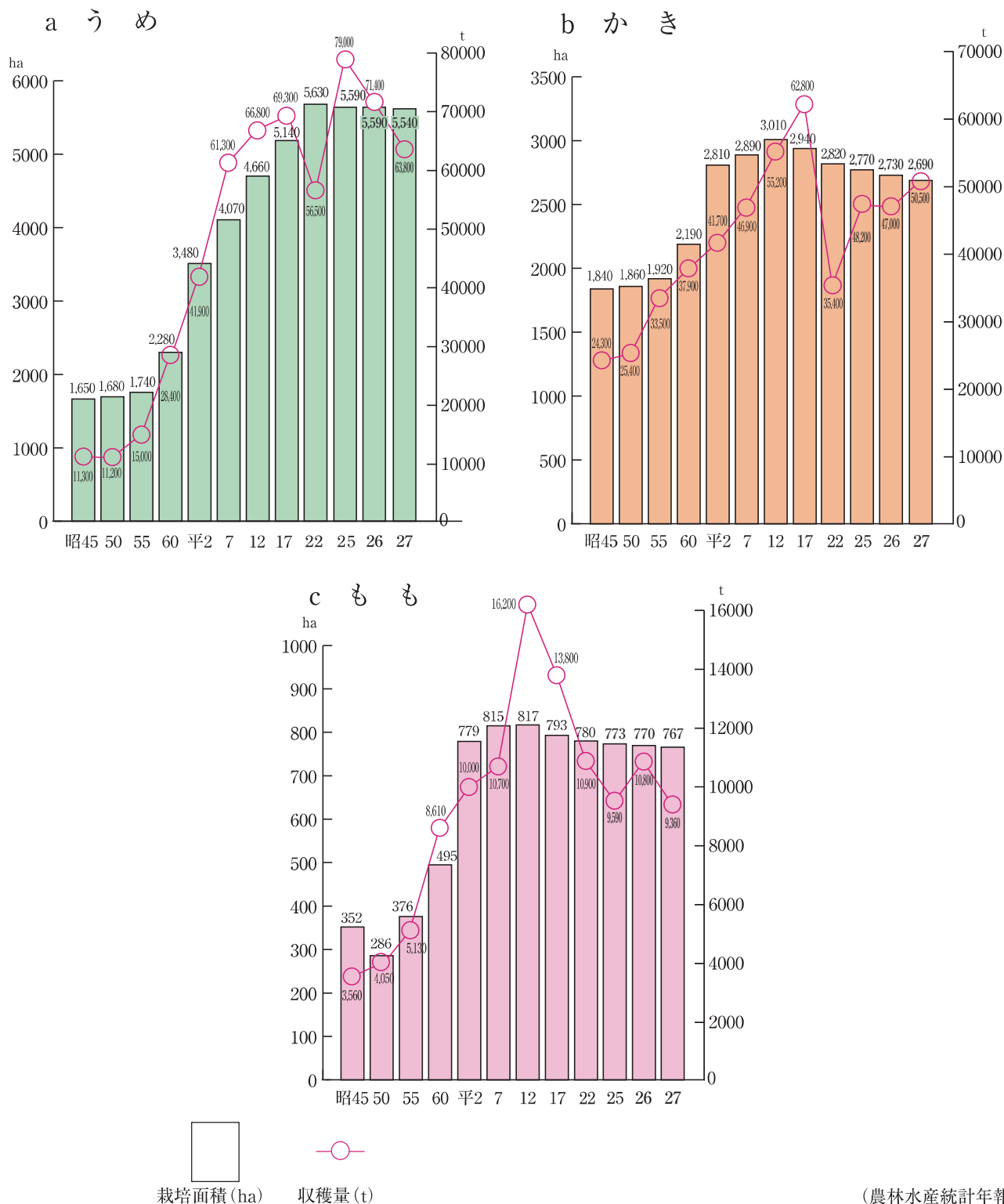
（市町村別統計検討協議会調べ）

みかんの栽培面積							
〔平27〕	全 国	和 歌 山 県			1 位	2 位	3 位
	実 数	実 数	順 位	シェア(%)	県名	県名	県名
み か ん	44,600	7,800	1	17.5	和歌山	愛 媛	静 岡

落葉果樹の栽培面積及び収穫量の推移

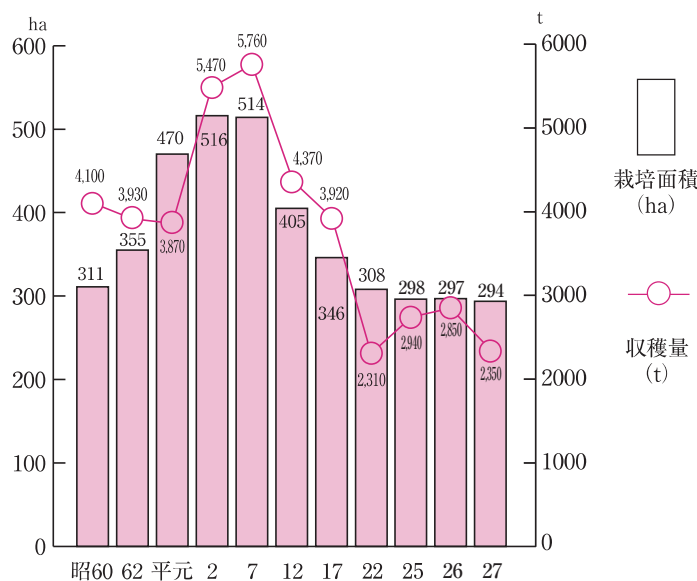
落葉果樹全体では、昭和55年以降みかんからの転作により栽培面積は増加傾向であったが、現在は横ばいである。

- うめ 昭和55年から平成7年にかけて健康食ブームと相まって栽培面積が急増したが、近年は横ばいとなっている。
 - かき・もも 昭和55年から平成2年にかけて栽培面積が急増し、それ以降は横ばいとなっている。
 - すもも・キウイフルーツ 平成2年をピークに栽培面積は減少したが、近年は横ばいとなっている。
- 平成27年の全国順位とシェア(栽培面積)——うめ1位(33.2%)・かき1位(12.6%)
もも4位(7.2%)・すもも3位(9.6%)
キウイフルーツ3位(7.0%)

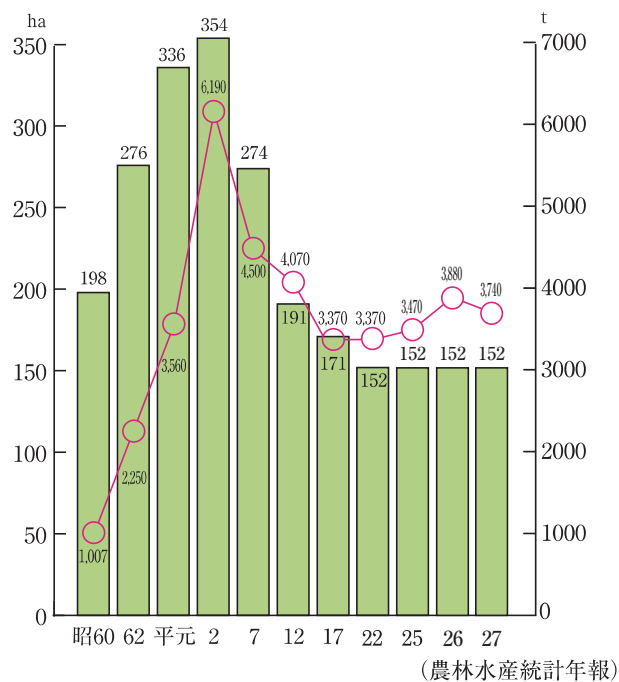


(農林水産統計年報)

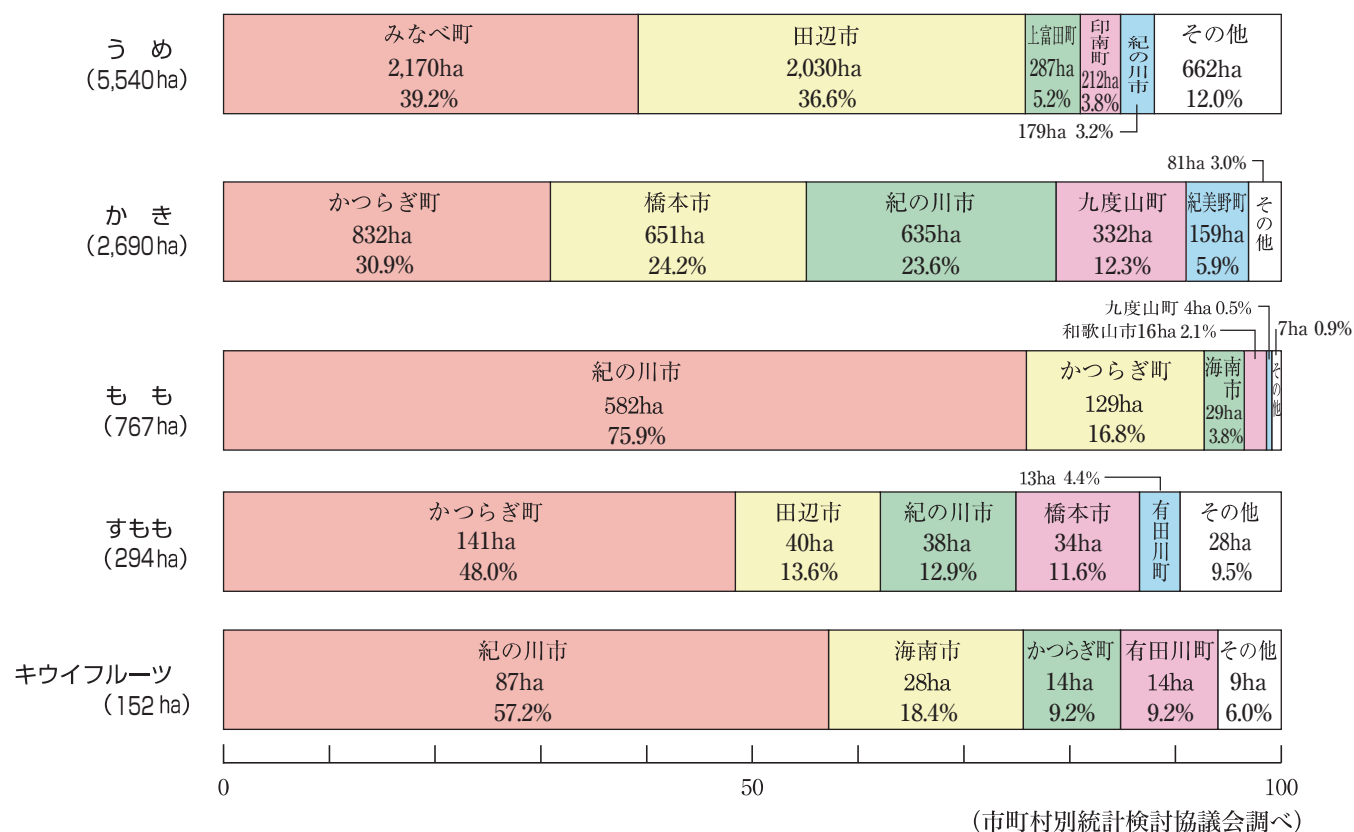
d すもも



e キウイフルーツ



市町村別・落葉果樹の栽培面積（平27）

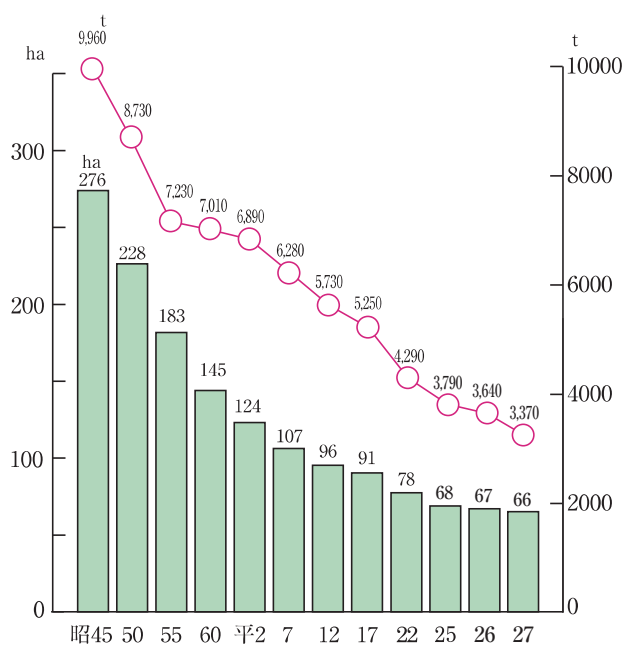


栽 培 面 積 (落葉果樹)								(ha)
〔平27〕		全 国	和 歌 山 県		1 位	2 位	3 位	
		実 数	実 数	順 位	シェア(%)	県名	県名	県名
う	め	16,700	5,540	1	33.2	和歌山	群 馬	福 井
か	き	21,400	2,690	1	12.6	和歌山	奈 良	福 岡
も	も	10,600	767	4	7.2	山 梨	福 島	長 野
す	も	3,050	294	3	9.6	山 梨	長 野	和歌山
キウイフルーツ		2,180	152	3	7.0	愛 媛	福 岡	和歌山

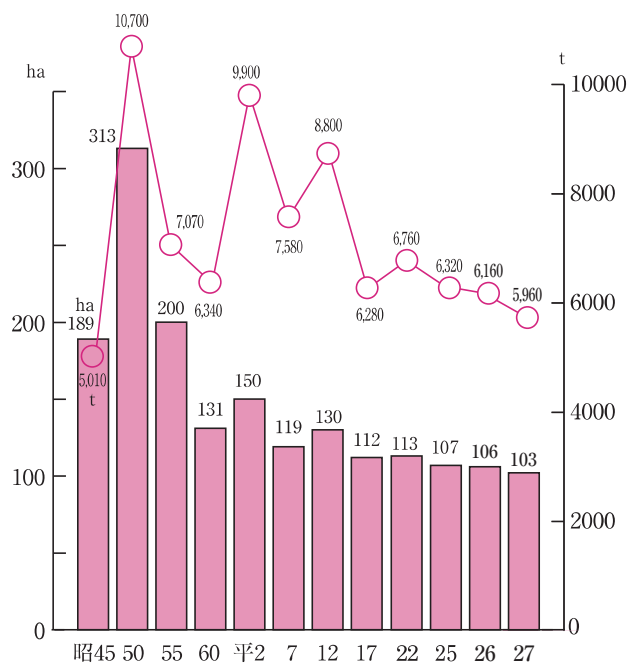
果菜類の作付面積及び収穫量の推移

栽培面積は減少傾向であるが、近年は横ばいで推移している。

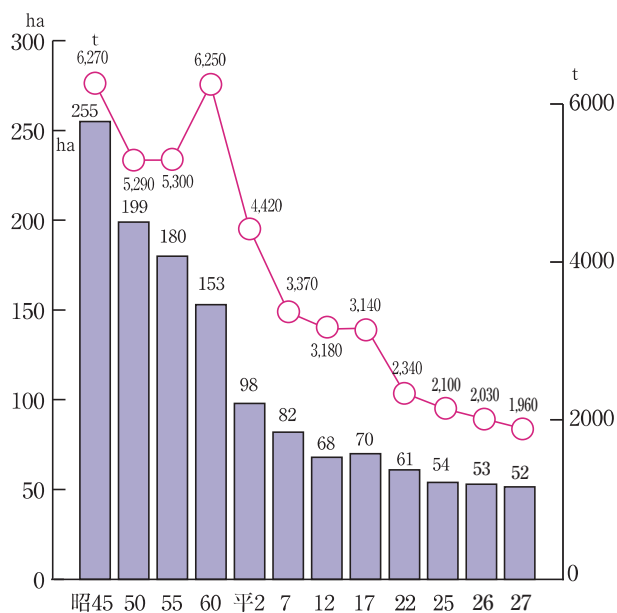
a きゅうり



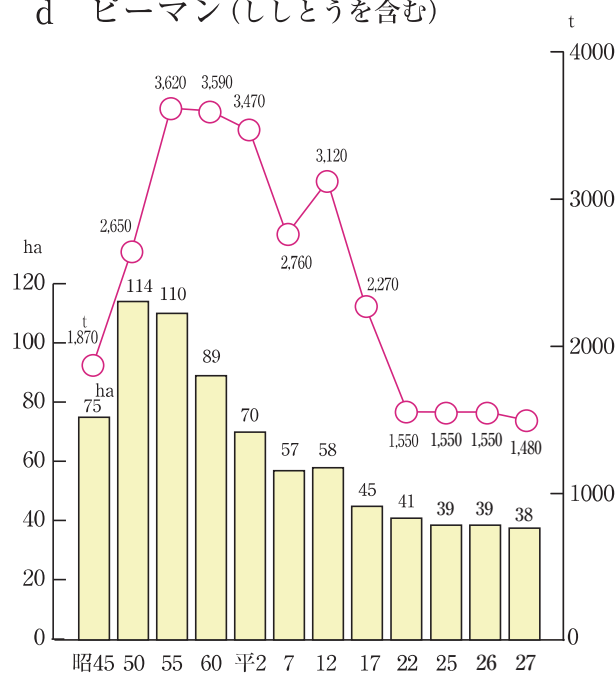
b トマト (ミニトマトを含む)



c なす



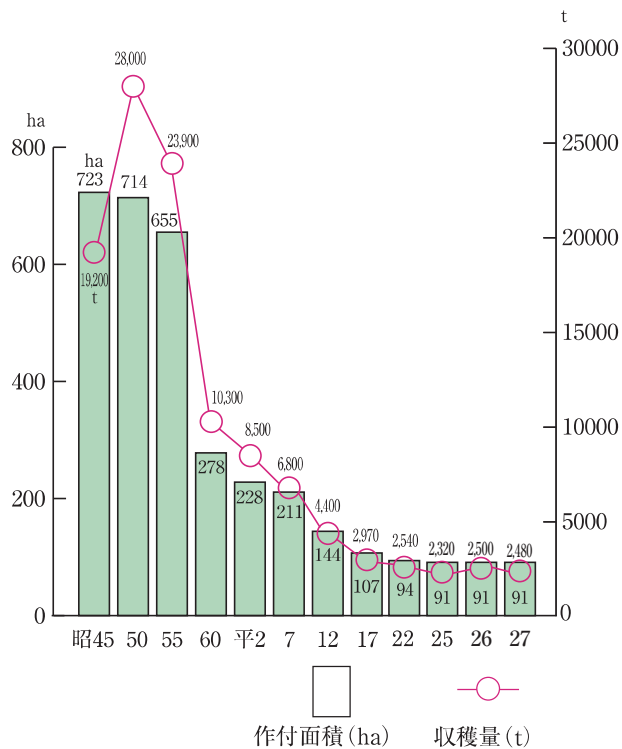
d ピーマン (ししとうを含む)



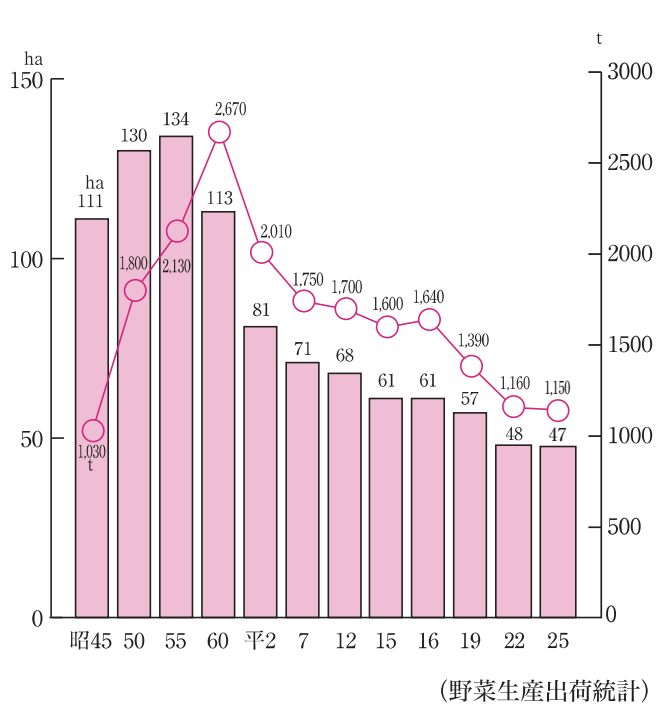
 作付面積 (ha)
  収穫量 (t)

(野菜生産出荷統計)

e すいか



f いちご



市町村別・果菜類の作付面積（平27）

品名	産地	面積 (ha)	割合 (%)
きゅうり (66 ha)	紀の川市	18ha	27.3%
	美浜町	12ha	18.2%
トマト (103 ha)	印南町	21ha	20.4%
	紀の川市	15ha	14.6%
	和歌山市	11ha	10.7%
	日高町	10ha	9.7%
	有田川町	7ha	6.8%
なす (52 ha)	紀の川市	13ha	25.0%
	橋本市	5ha	9.6%
	御坊市	5ha	9.6%
	海南市	4ha	7.7%
	岩出市	4ha	7.7%
ピーマン (38 ha)	和歌山市	8ha	21.1%
	御坊市	8ha	21.1%
	有田川町	7ha	18.4%
	紀の川市	3ha	7.9%
	かつらぎ町	2ha	5.3%
	印南町	2ha	5.3%
すいか (91 ha)	印南町	45ha	49.5%
	御坊市	15ha	16.5%
	紀の川市	10ha	11.0%

※ピーマンはししとう含む

(市町村別統計検討協議会調べ)

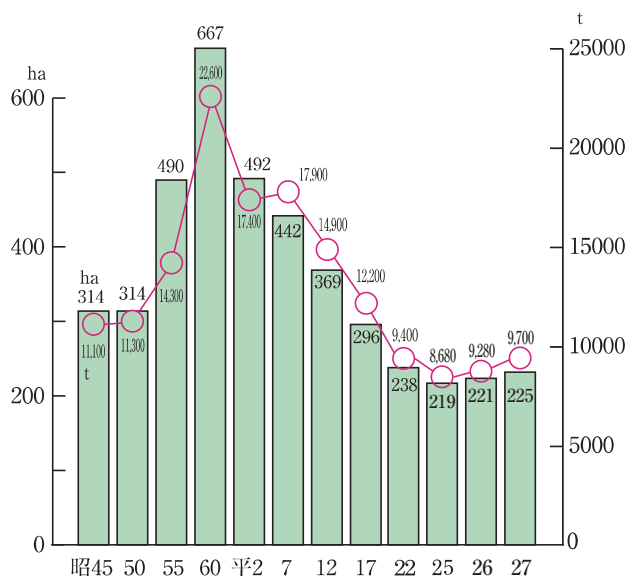
作 付 面 積 (果菜類)								(ha)
〔平27〕	全 国	和 歌 山 県		1 位	2 位	3 位		
	実 数	実 数	順 位	シェア(%)	県名	県名	県名	
き ゆ う り	11,000	66	44	0.6	群 馬	福 島	宮 崎	
ト マ ト	12,100	103	37	0.9	熊 本	茨 城	北 海 道	
な す	9,410	52	43	0.6	新 潟	群 馬	山 形	
ピ ー マ ン	3,270	38	24	1.2	茨 城	宮 崎	岩 手	
す い か	10,600	91	21	0.9	熊 本	千 葉	山 形	
い ち ご	5,450	—	—	—	栃 木	福 岡	熊 本	

※県順位は、公表されている統計数値から作成した。

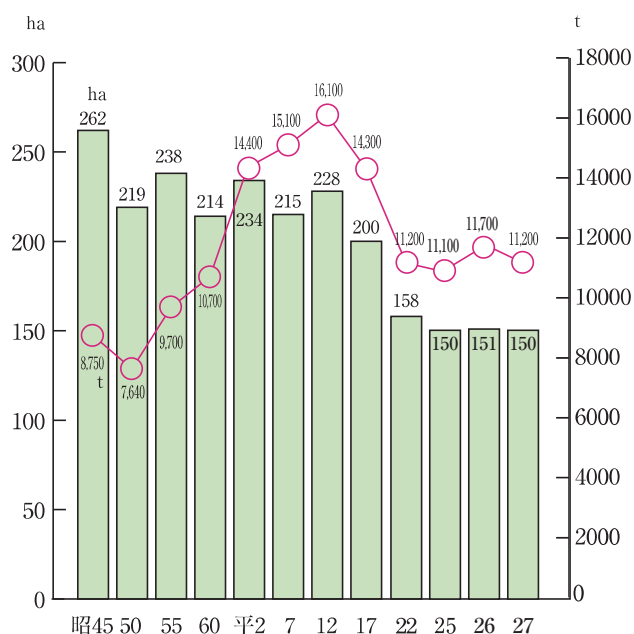
葉茎菜類の作付面積及び収穫量の推移

- 近年、栽培面積は減少傾向であるが、近年は横ばいで推移している。

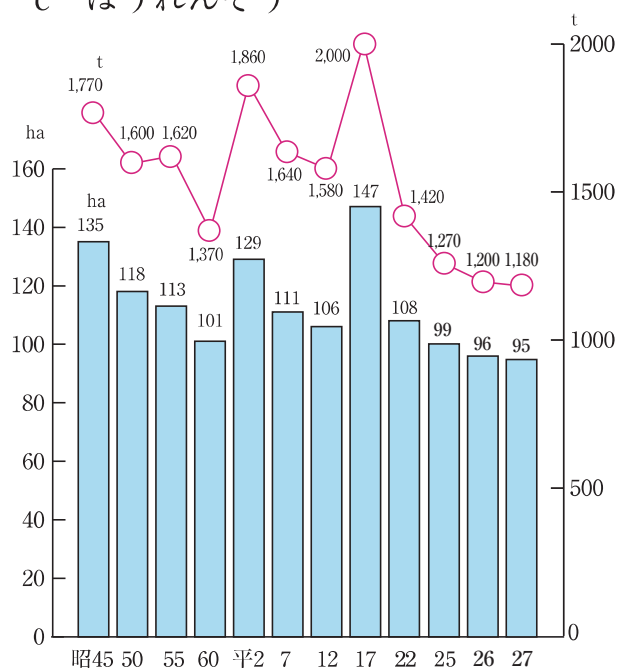
a キャベツ



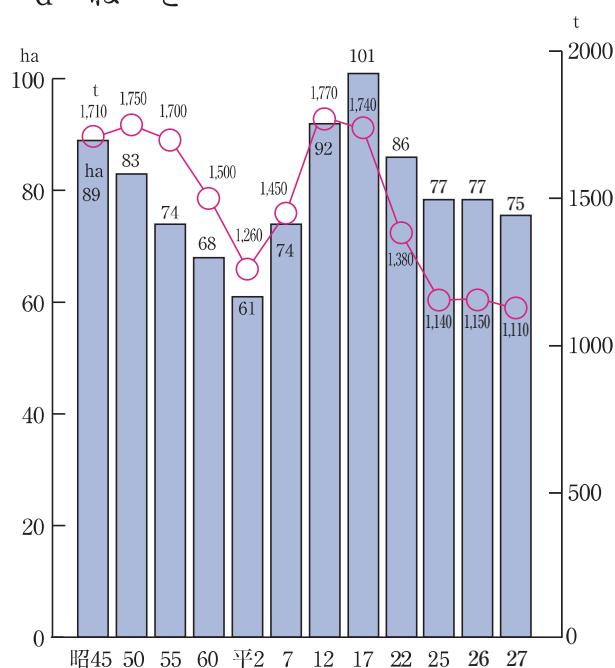
b はくさい



c ほうれんそう



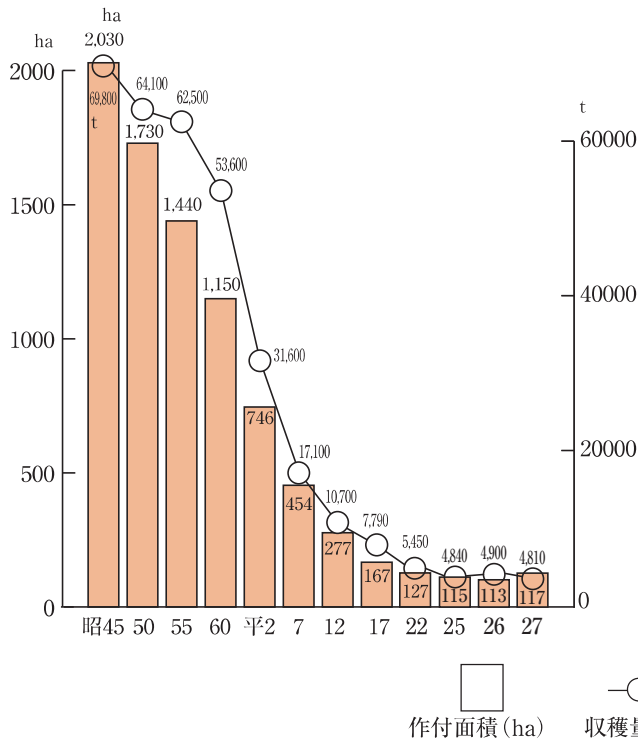
d ねぎ



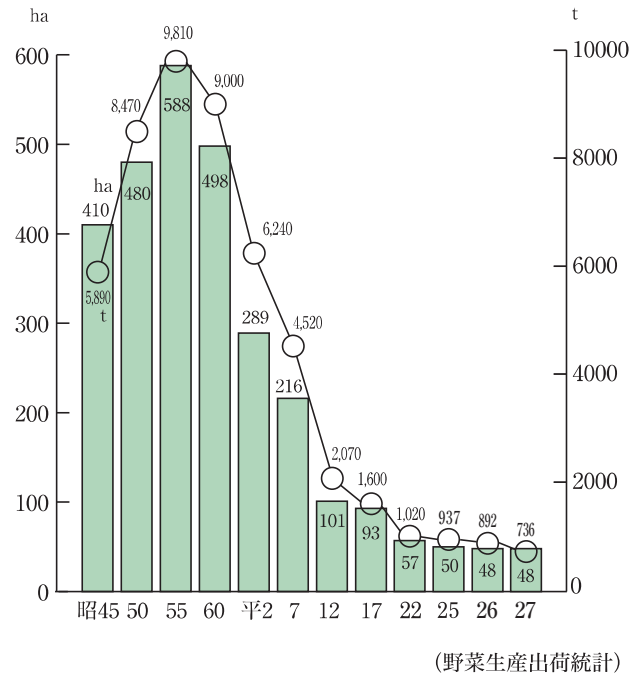
作付面積 (ha) 収穫量 (t)

(野菜生産出荷統計)

e たまねぎ

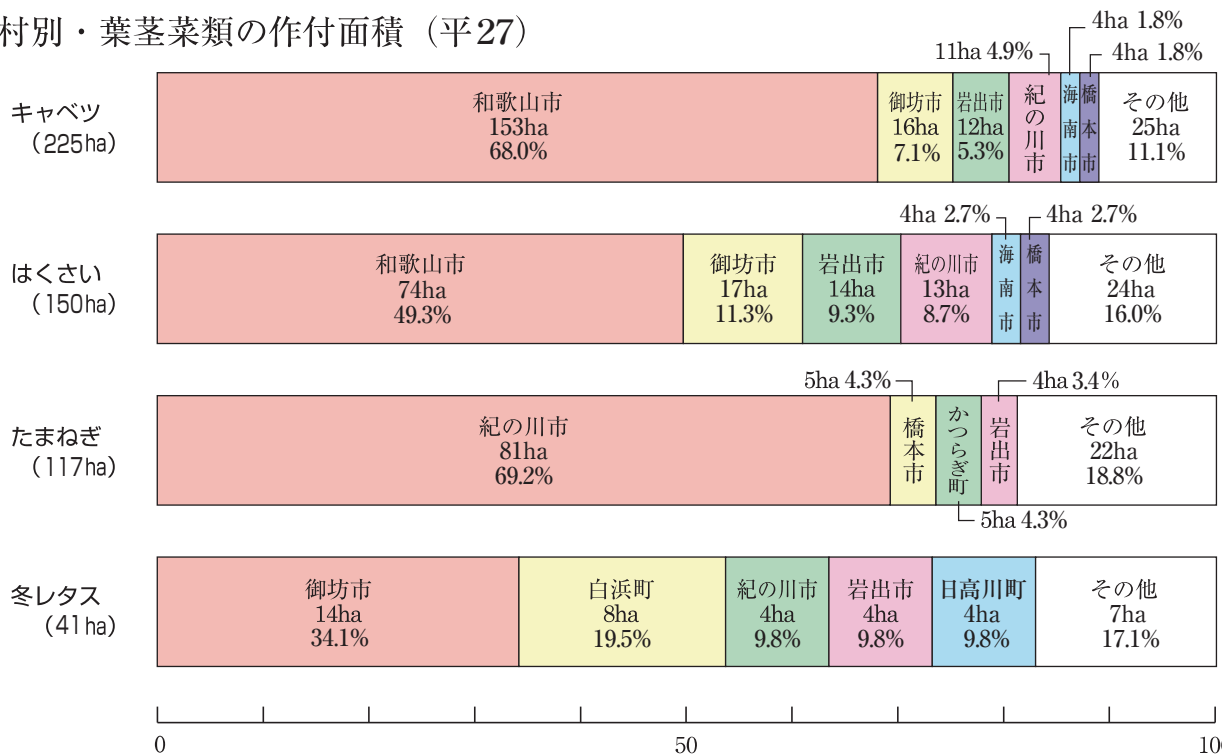


f レタス



(野菜生産出荷統計)

市町村別・葉茎菜類の作付面積 (平27)



(市町村別統計検討協議会調べ)

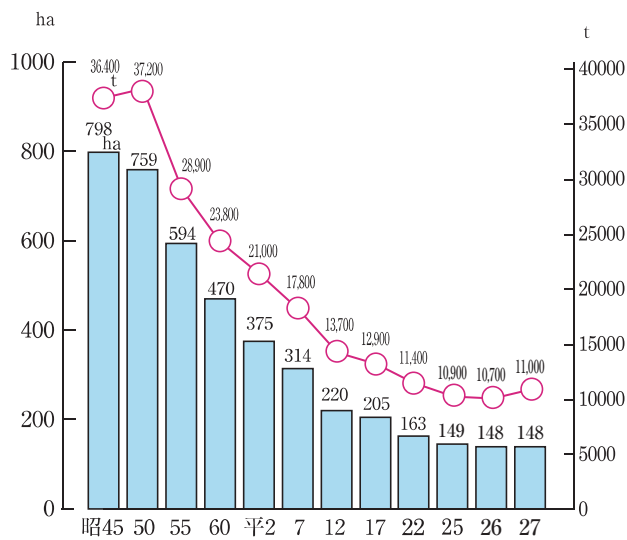
作付面積 (葉茎菜類)					(ha)		
〔平27〕	全 国	和 歌 山 県			1 位	2 位	3 位
	実 数	実 数	順 位	シェア(%)	県名	県名	県名
キ ャ ベ ツ	34,700	225	35	0.6	愛 知	群 馬	千 葉
は く さ い	17,600	150	29	0.9	茨 城	長 野	北 海 道
ほうれんそう	21,000	95	41	0.5	千 葉	埼 玉	群 馬
ね ぎ	22,800	75	46	0.3	埼 玉	千 葉	茨 城
た ま ね ぎ	25,700	117	27	0.5	北 海 道	佐 賀	兵 庫
レ タ ス	21,500	48	29	0.2	長 野	茨 城	群 馬・兵 庫

※県順位は、公表されている統計数値から作成した。

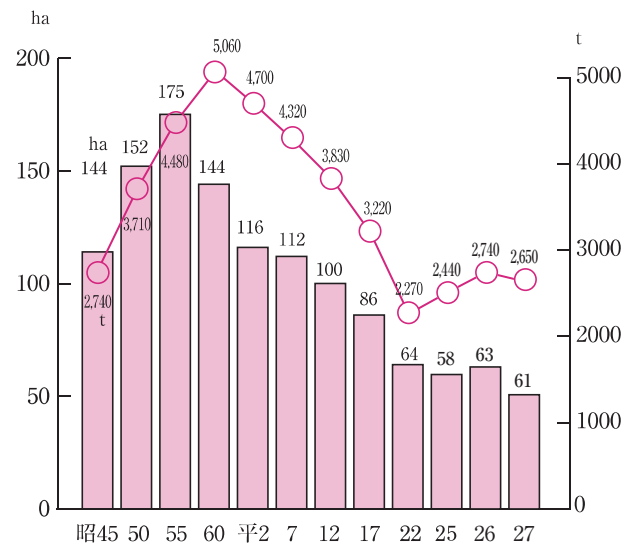
根菜類及び豆類の作付面積と収穫量の推移

- 栽培面積は減少傾向であるが、近年は横ばいで推移している。

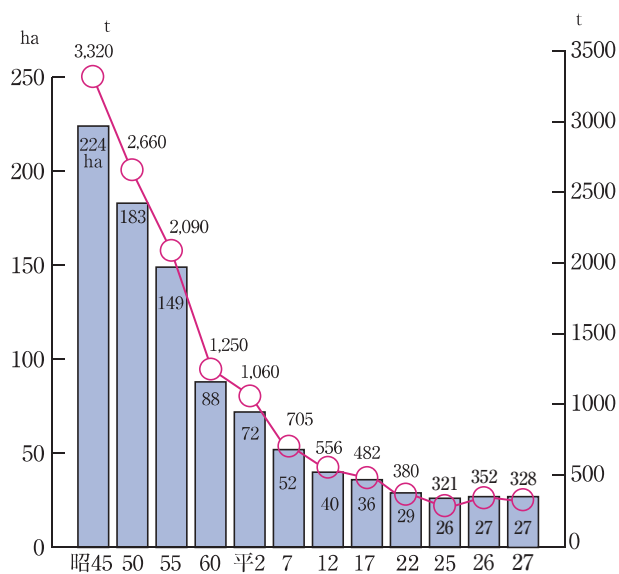
a дайこん



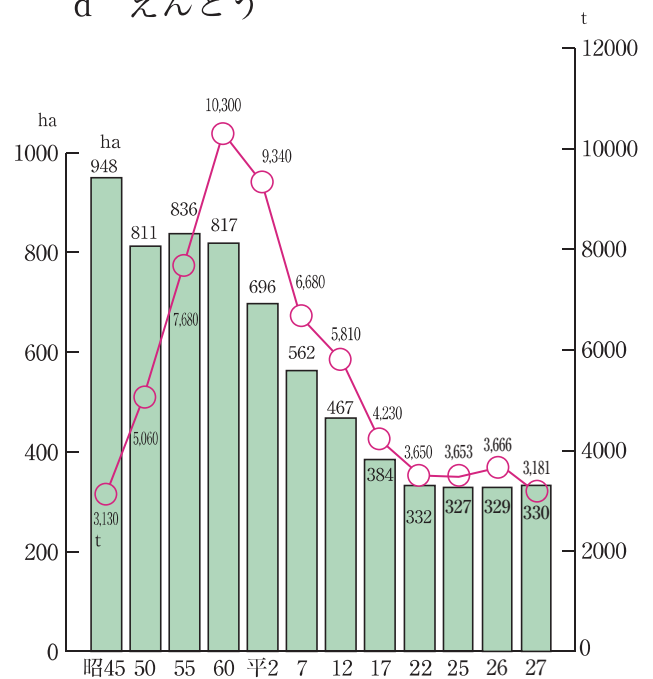
b にんじん



c さといも



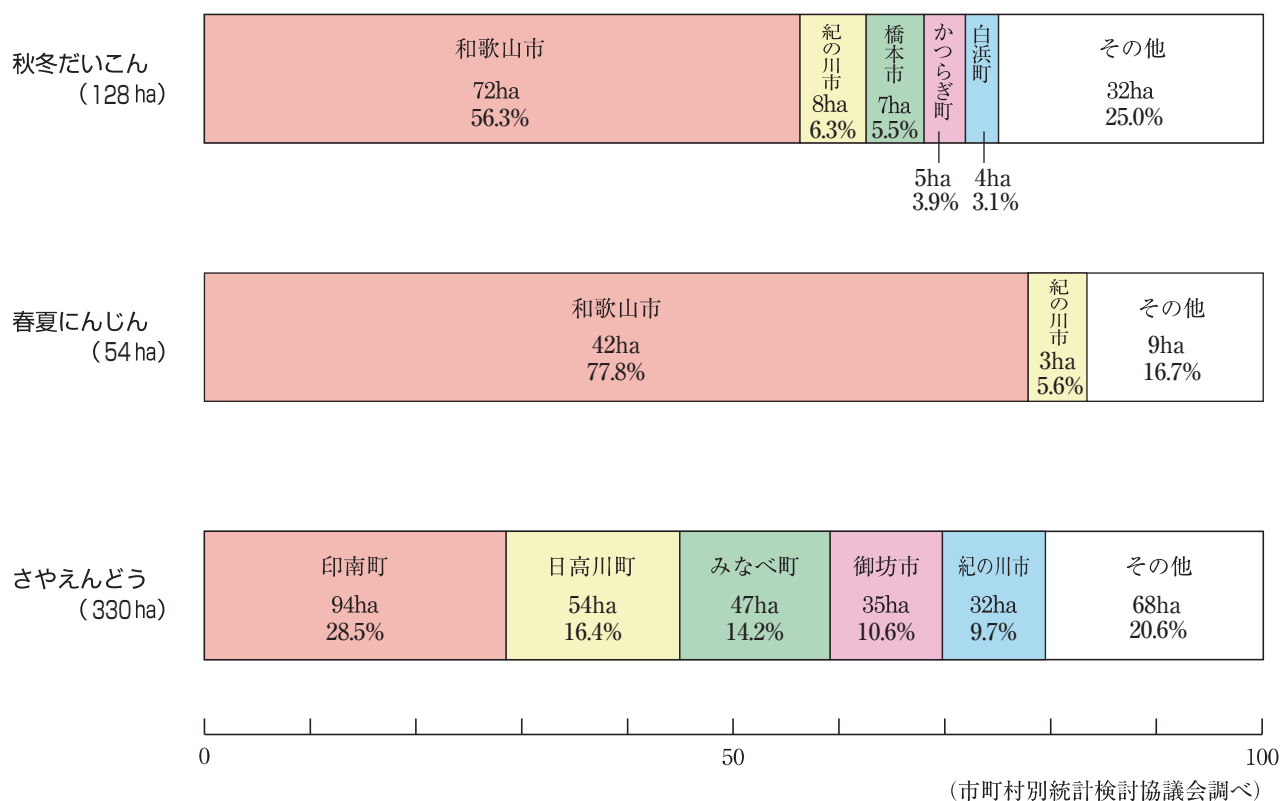
d えんどう



 作付面積 (ha)
  収穫量 (t)

(野菜生産出荷統計)

市町村別・根菜類及び豆類の作付面積（平27）



作 付 面 積 (根菜類・豆類)							
〔平27〕	全 国	和 歌 山 県			1 位	2 位	3 位
	実 数	実 数	順 位	シェア(%)	県名	県名	県名
だ い こ ん	32,900	148	41	0.4	北海道	青 森	千 葉
に ん じ ん	18,100	61	31	0.3	北海道	千 葉	青 森
さ と い も	12,500	27	40	0.2	千 葉	宮 崎	埼 玉
え ん ど う	3,807	330	2	8.7	鹿児島	和歌山	福 島

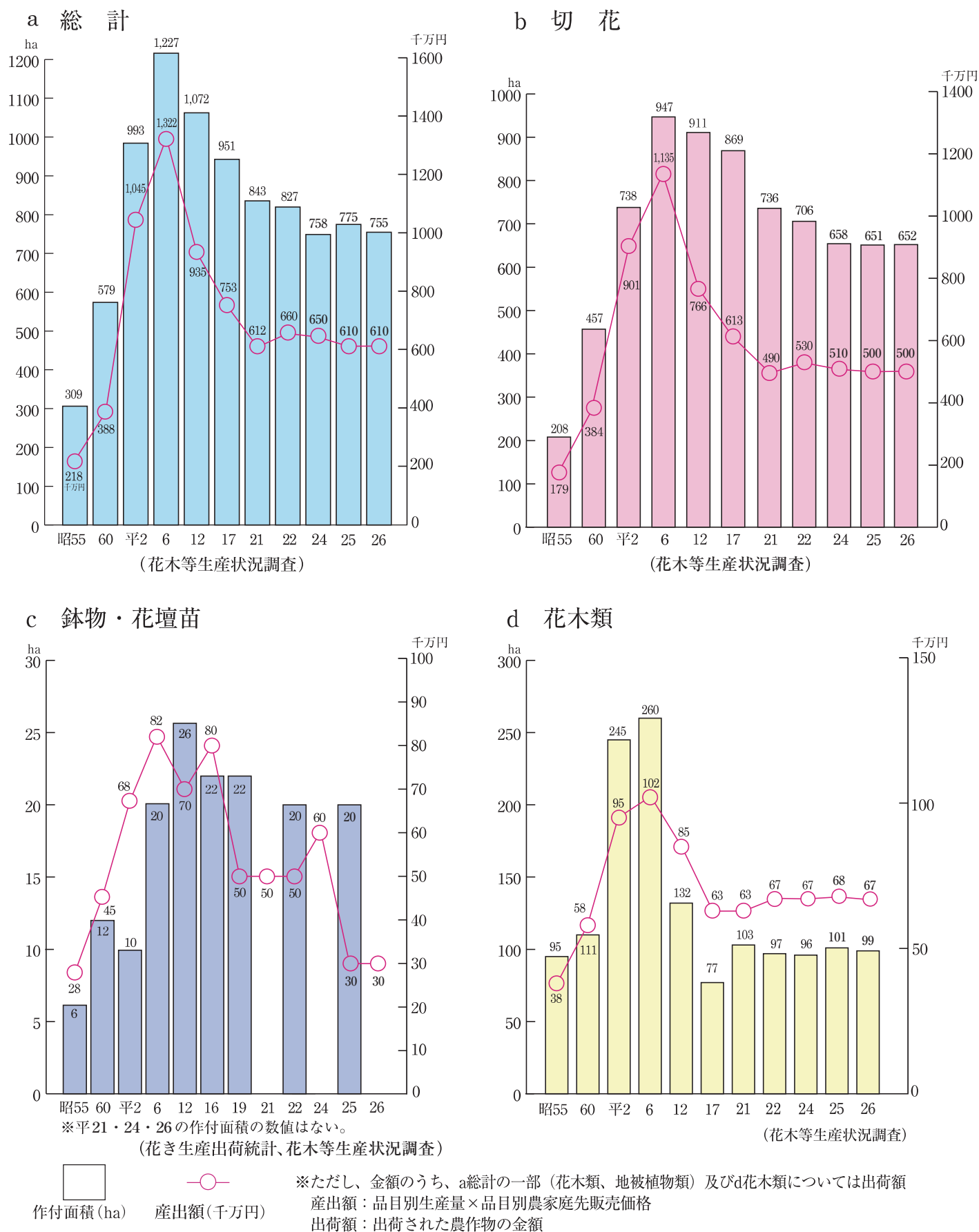
※県順位は、公表されている統計数値から作成した。

(野菜生産出荷統計)

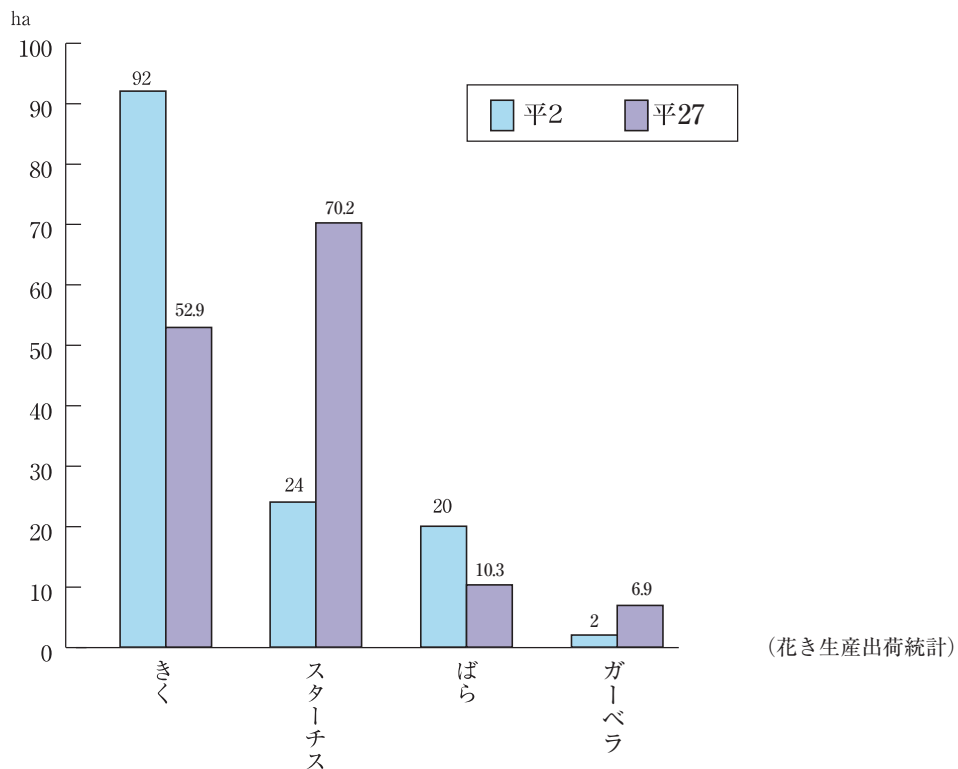
※えんどうはさやえんどう、グリーンピースの合計

花き生産の推移

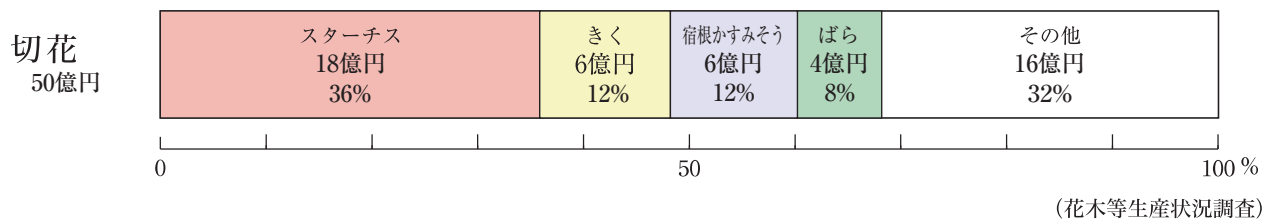
花き全体の栽培面積は平成6年から平成2年にかけ需要の増加や野菜からの転換により急激に増加し、平成6年にピークとなった。その後減少に転じ、近年は横ばいとなっている。



主要切花の作付面積



切花生産額の品目別割合（平26）



産 出 額 (花 き)							(億円)
〔平26〕	全 国	和 歌 山 県			1 位	2 位	3 位
	実 数	実 数	順 位	シェア(%)	県名	県名	県名
ス タ ー チ ス	45	18	1	40.0	和歌山	北海道	長 野

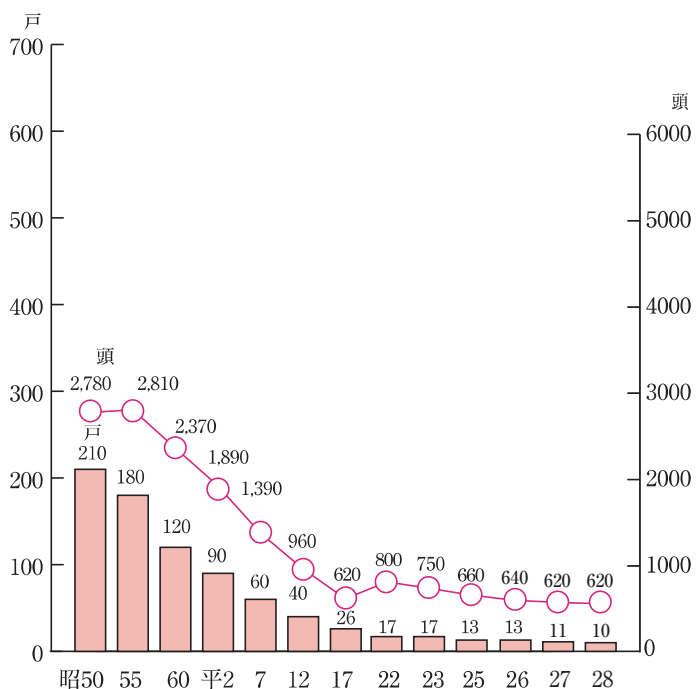
(花木等生産状況調査)

家畜の飼養戸数及び飼養頭羽数の推移

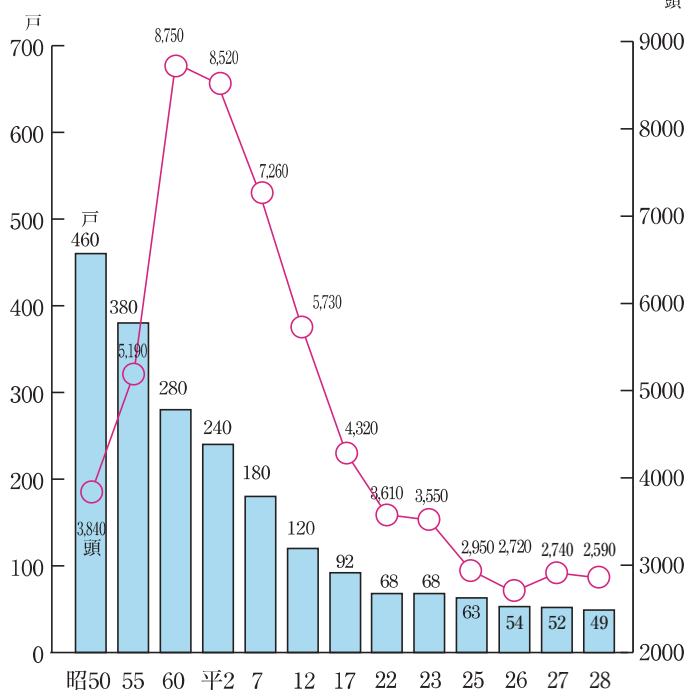
畜産農家数及び飼養頭羽数は減少傾向であるが近年は横ばいで推移している。

(採卵鶏の農家戸数は平成元年より300羽以上のみ、平成9年より1,000羽以上のみ、平成14年より種鶏農家除く。)

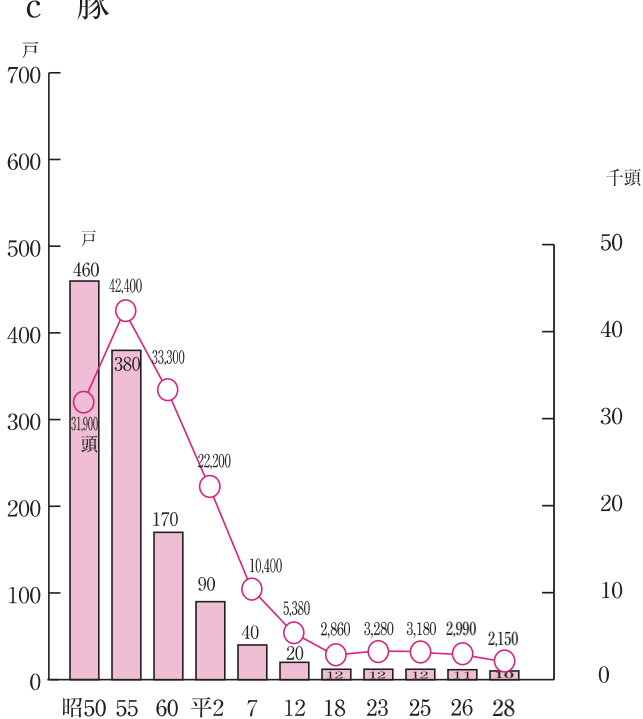
a 乳用牛



b 肉用牛



c 豚



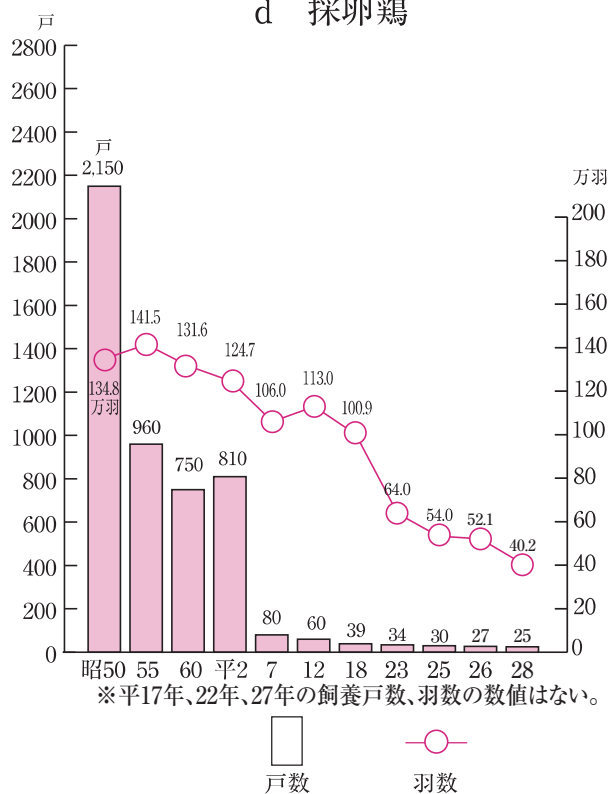
※平17年、22年、27年の飼養戸数、頭数の数値はない。

戸数

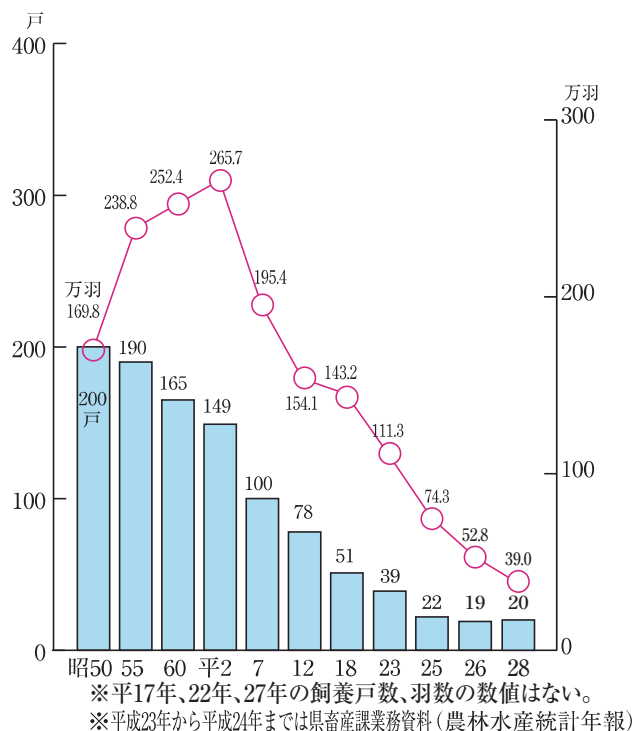
頭数

(農林水産統計年報)

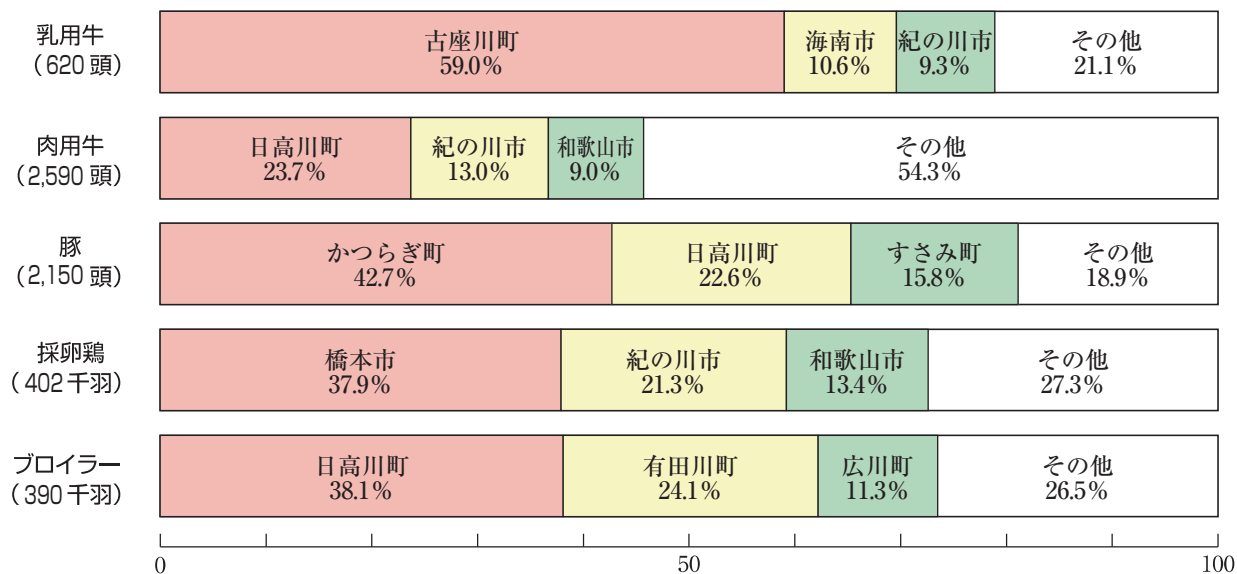
d 採卵鶏



e ブロイラー



市町村別・家畜飼養頭羽数（平28：乳用牛、肉用牛、豚・採卵鶏）



※豚、採卵鶏、ブロイラーについては平26数値（県畜産課業務資料）

家畜の飼養頭羽数・戸数

		全 国	和 歌 山 県			1位	2位	3位
		実 数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
飼養頭羽数	乳用牛(頭)	1,345,000	620	47	0.0	北海道	栃 木	熊 本
	肉用牛(頭)	2,479,000	2,590	44	0.1	北海道	鹿児島	宮 崎
	豚 (頭)	9,313,000	2,150	47	0.0	鹿児島	宮 崎	千 葉
	採卵鶏(千羽)	175,733	402	43	0.2	茨 城	千 葉	鹿児島
	ブロイラー(千羽)	134,395	390	—	0.3	宮 崎	鹿児島	岩 手
飼養戸数(戸)	乳 用 牛	17,000	10	47	0.1	北海道	岩 手	栃 木
	肉 用 牛	51,900	49	44	0.1	鹿児島	宮 崎	岩 手
	豚	4,830	10	43	0.2	鹿児島	宮 崎	茨 城
	採 卵 鶏	2,530	25	34	1.0	千 葉	愛 知	茨 城
		ブロイラー	2,360	20	0.8	宮 崎	鹿児島	岩 手

(農林水産統計年報)

乳用牛、肉用牛、豚、採卵鶏、ブロイラー〔平28.2.1現在〕

ブロイラーの飼養頭羽数の和歌山県の順位は、飼養頭羽数の数値がXとなっている県があるため確定できない。

X:個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの

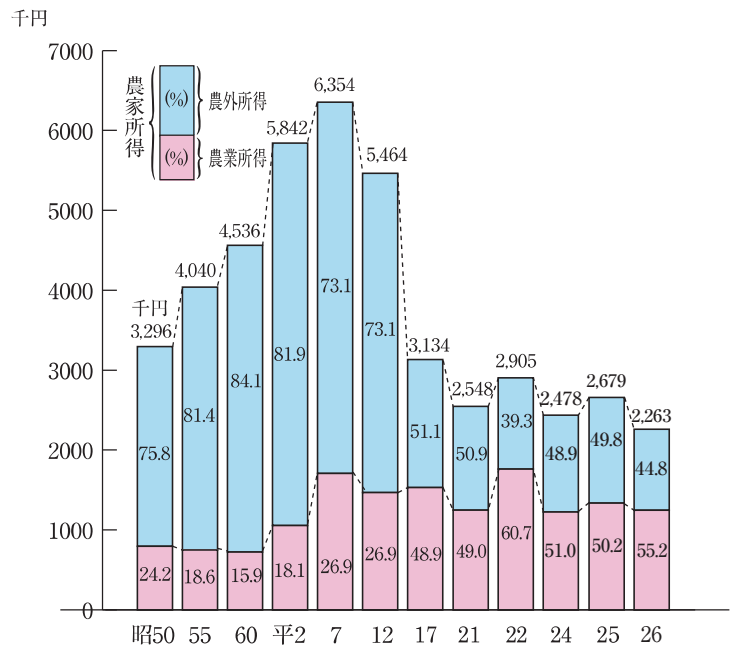
5) 農業所得と農業産出額

農業産出額はピークの平成3年で1,737億円となり、昭和45年に比べ3.0倍となっている。しかし、平成11年以降ピーク時の60～70%程度の産出額で推移している。

また、生産農業所得も同様の傾向で平成26年は252億円となり、農家所得推移も平成8年(6,590千円)をピークに減少傾向にある。

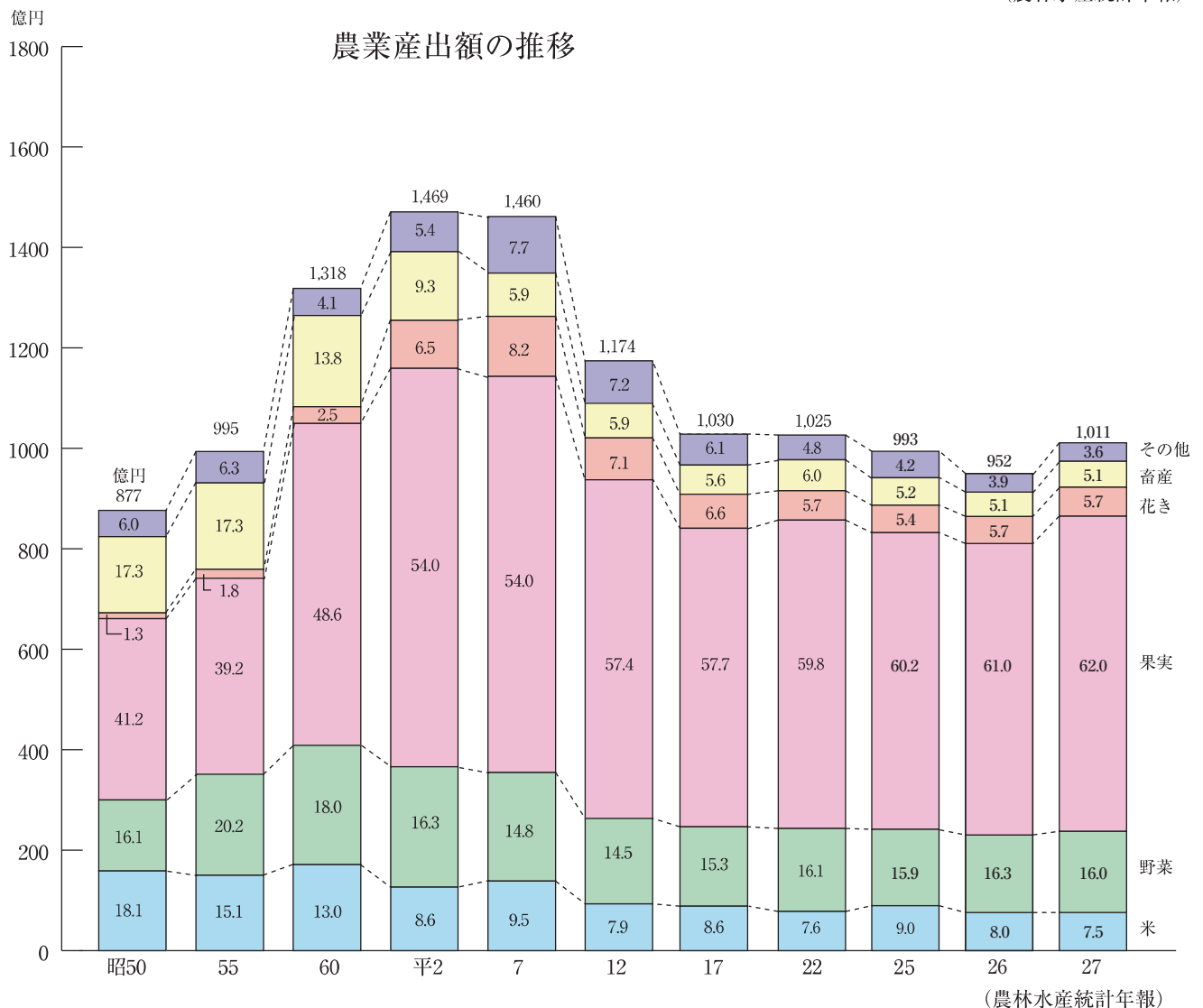
※本調査は、平成16年より調査対象及び調査内容が変更されていますので、ご利用の際はご注意ください。

農家所得の推移



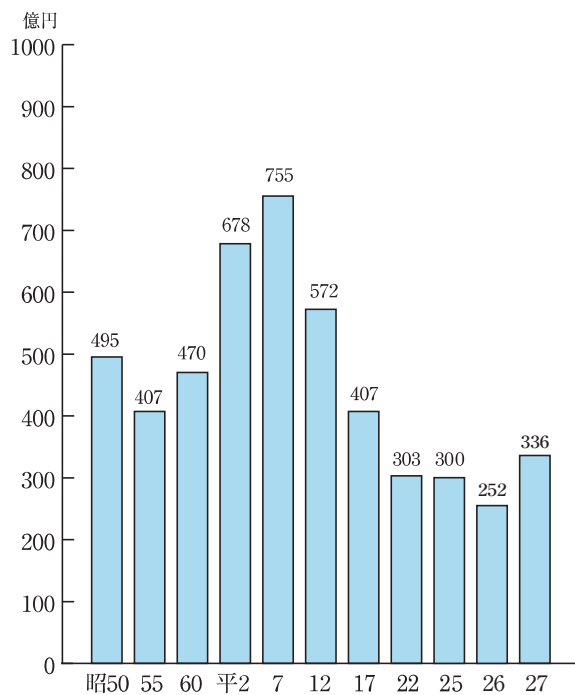
(農林水産統計年報)

農業産出額の推移



(農林水産統計年報)

生産農業所得（県計）の推移



（農林水産統計年報）

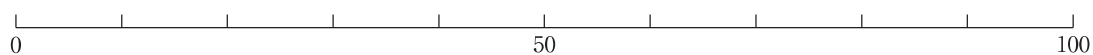
市町村別・部門別農業産出額（平27）

米 （760千万円）	和歌山市	紀の川市	橋本市	岩出市	御坊市	その他
	193	105	46	44	38	334
	25.4%	13.8%	6.1%	5.8%	5.0%	43.9%

野 菜 （1,620千万円）	和歌山市	印南町	紀の川市	御坊市	日高川町	その他
	295	275	260	157	110	520
	18.2%	17.0%	16.1%	9.7%	6.8%	32.2%

果 実 （6,270千万円）	紀の川市	有田川町	田辺市	海南市	かつらぎ町	その他
	1,175	908	704	623	527	2,340
	18.7%	14.5%	11.2%	9.9%	8.3%	37.3%

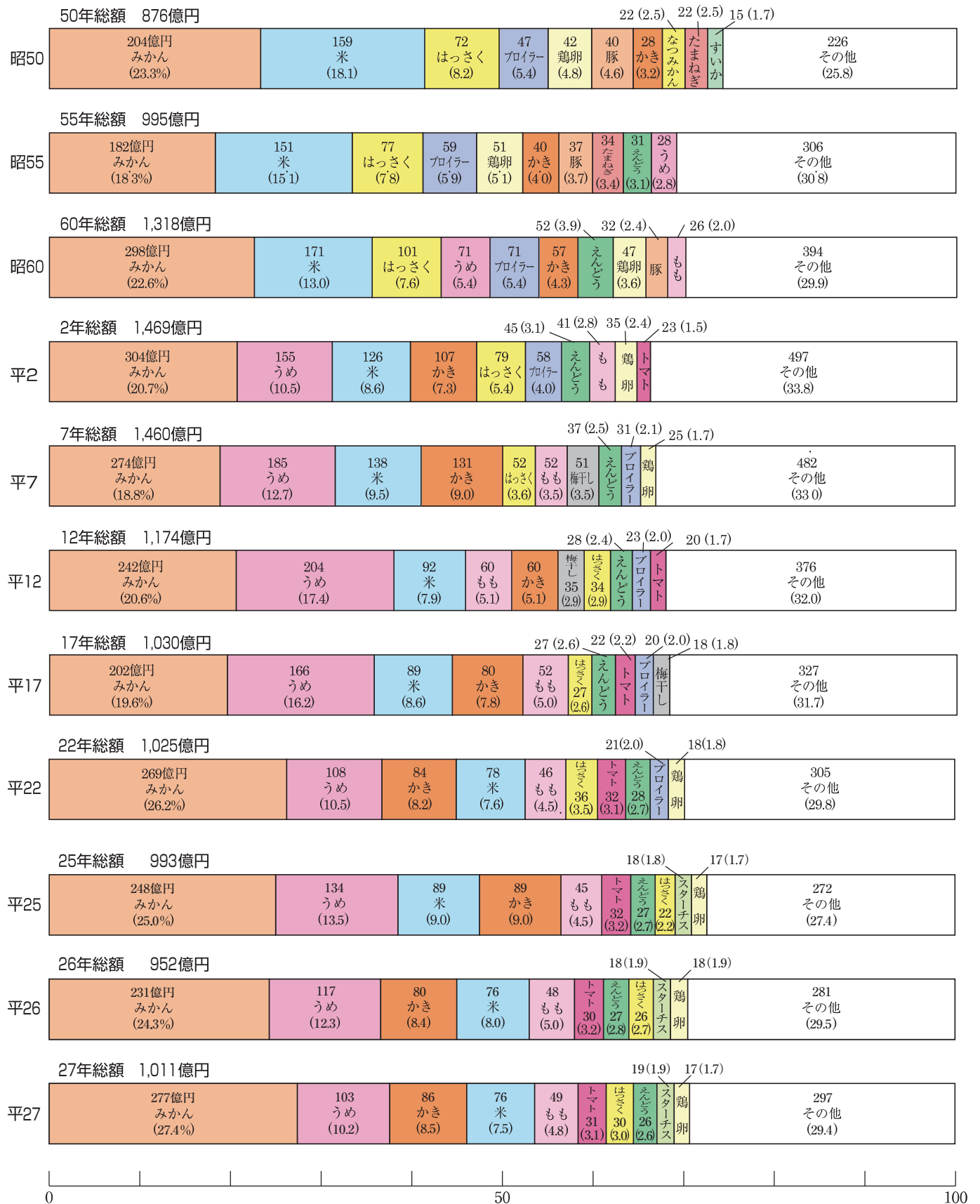
花 き （580千万円）	御坊市	紀の川市	印南町	田辺市	広川町	その他
	146	80	76	68	45	157
	25.5%	14.0%	13.3%	11.9%	7.9%	27.4%



（農林水産統計年報）

農産物産出額上位10品目の推移

平成27年の農産物産出額を品目別にみると、「うめ」と「みかん」で全体の約38%を占めており、1位みかん、2位うめ、3位かき、4位米、5位ももとなっている。



6) 農業農村整備事業の基盤整備状況

農業農村整備事業における基盤の整備状況は、畑の農道整備53.1%、かんがい施設整備32.1%、区画整理6.5%で田の区画整理は16.2%となっている。整備済みの農業水利施設については、本格的な保全対策を進めています。

1 畑（果樹園・普通畑）の整備状況

項目 \ 年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
畑 面 積 (ha)	25,100	24,800	24,600	24,500	24,400	24,300	24,200	23,900
農 道 整 備 済 面 積 (ha)	12,204	12,253	12,344	12,348	12,359	12,458	12,496	12,695
整 備 率 (%)	48.6	49.4	50.2	50.4	50.7	51.3	51.6	53.1
畑地かんがい施設整備済み面積 (ha)	7,501	7,501	7,501	7,501	7,501	7,552	7,662	7,676
整 備 率 (%)	29.9	30.2	30.5	30.6	30.7	31.1	31.7	32.1
区 画 整 理 済 面 積 (ha)	1,520	1,520	1,525	1,525	1,539	1,551	1,551	1,562
整 備 率 (%)	6.1	6.1	6.2	6.2	6.3	6.4	6.4	6.5

- ・農道整備済みとは、末端農道が整備された畑
- ・畑地かんがい施設整備済みとは、スプリンクラー等の施設が整備されている畑、及び、水源が確保され必要に応じて散水が可能な畑
- ・区画整理には、農地造成を含む

2 田の整備状況

項目 \ 年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
田 面 積 (ha)	10,900	10,700	10,600	10,500	10,300	10,300	10,100	9,870
区 画 整 理 済 面 積 (ha)	1,588	1,588	1,588	1,588	1,588	1,601	1,601	1,601
整 備 率 (%)	14.6	14.8	14.8	15.1	15.4	15.5	15.9	16.2

- ・区画整理には、30a未満の小区画を含む。

3 土地改良施設の整備状況

項目 \ 年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
農 業 水 利 施 設 延 長 (km)	682	682	682	682	682	682	682	682
保 全 対 策 済 延 長	24	40	50	52	68	79	95	101
た め 池 の 箇 所 数	5,566	5,566	5,566	5,453	5,453	5,453	5,453	5,453
整 備 済 箇 所 数	1,115	1,136	1,163	1,177	1,213	1,226	1,250	1,280
整 備 率 (%)	20.0	20.4	20.5	21.0	22.2	22.5	22.9	23.5
農 業 集 落 排 水 整 備 対 象 人 口 (人)	61,878	45,003	45,921	45,321	44,781	44,425	44,188	42,940
整 備 済 人 口	43,302	43,250	43,527	43,395	42,859	42,492	42,252	41,011
整 備 率 (%)	70.0	96.1	94.8	95.8	95.7	95.6	95.6	95.5
広 域 農 道 整 備 済 延 長 (km)	66.9	68.3	68.9	69.8	70.4	71.5	72.1	73.1

- ・農業水利施設延長は、県営事業以上で造成された幹線施設延長
- ・広域農道の整備済み延長は供用開始済みの延長